

ビデオカセット レコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠ 警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

VHS **Hi-Fi**

SLV-FT5

必ずお読みください

大切な録画の場合は

必ず事前にためし録りをし、正常に録画、録音されていることを確認してください。

録画内容の補償はできません

本機やテープなどを使用中、万一これらの不具合により録画・録音されなかった場合の録画内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

録画防止機能について

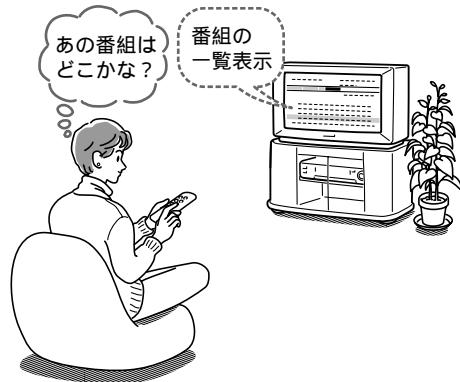
別売りのデジタルCSチューナーで番組をご視聴の場合、番組に録画防止機能(コピーガード)がついている場合があります。この場合、番組によっては録画できないものがありますので、ご注意ください。

主な特長

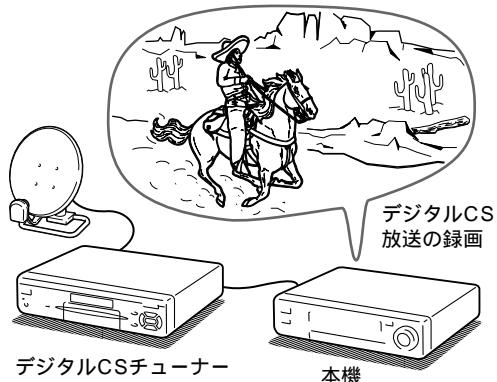
本機は、1本のテープに続けて録画すると、録画の内容をテレビ画面に表示し、頭出しできる、テープマップサーチ機能付きビデオです。本機ならではの便利な機能を楽しむことができます。

録画した内容をテレビ画面に表示して、頭出し再生できる(テープマップサーチ)

(☞ 16ページ)



別売りのデジタルCSチューナーから録画や予約録画できる(☞ 22ページ)



さらにこんなことができます。

- ・かんたん設定でチャンネルと時計をまとめて設定(☞ 35ページ)
- ・ピッタリ録画でテープ残量を判断し、自動的に録画モードを3倍に切り換え(☞ 48ページ)
- ・付属のリモコンで各社のテレビを操作(☞ 45ページ)
- ・ジャストロックで自動的に内蔵の時計を調整(☞ 41ページ)
- ・シンクロ録画で番組予約機能がある機器(デジタルCSチューナーやCATVチューナーなど)から予約録画(☞ 23ページ)

目次

操作の前に「接続と準備」( 28ページ)を済ませておいてください。

ここだけ読んでも使えます

ビデオを見る	4
録画する	6
予約する	8
予約を確認する・変更する・取り消す	10

再生

CMをとばす	12
速さを変えて見る	13
二か国語放送などの音声を切り換える	14
画面表示やテープ残量を見る	15
録画した番組を頭出しそる (テープマップサーチ)	16
番組を頭出しそる	18
画像と音声を調整する(トラッキング)	19

録画・予約

決めた時間だけ録画する (クイックタイマー)	20
別売りのデジタルCSチューナーから録画する	22

ダビング・編集

ダビング・編集する	25
-----------	----

接続と準備

接続と準備の流れ	28
手順1: 付属品を確かめる	29
手順2: リモコンを準備する	29
手順3: アンテナとテレビにつなぐ	30
手順4: 電源コードをつなぐ	34
手順5: かんたん設定をする (チャンネル・時計合わせ)	35
チャンネルを自動で合わせる (自動チャンネル合わせ)	36
チャンネルの番号を変える (手動チャンネル合わせ)	37
時計を合わせる	40
ケーブルテレビ(CATV)をつなぐ	43
デジタルCSチューナーをつなぐ	44
リモコンで各社のテレビを操作する	45
受信状態を調整する	46
お買い上げ時の設定を変える	47

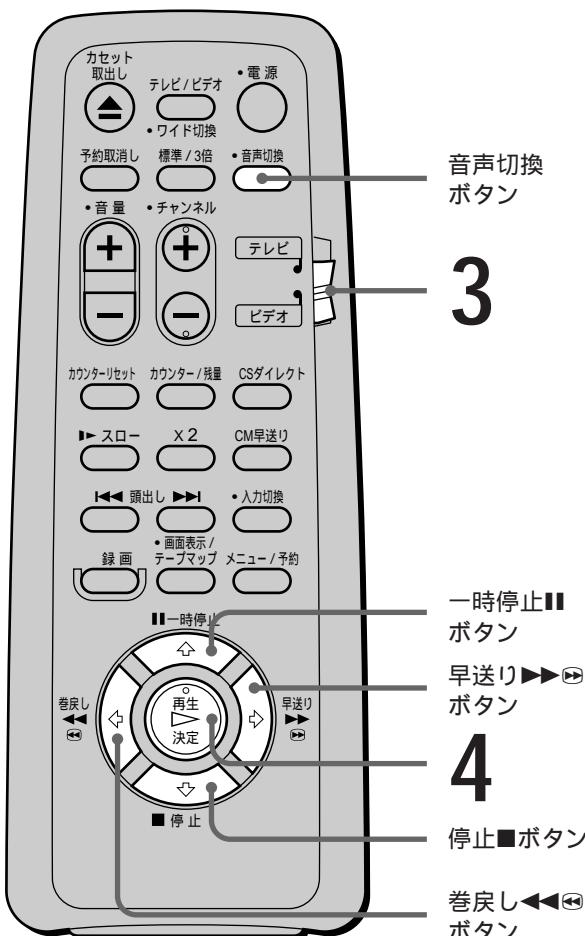
その他

使えるテープと再生・録画方式について	49
使用上のご注意	50
故障かな?と思ったら	51
自己診断表示(■表示が出たら)	53
保証書とアフターサービス	54
主な仕様	54
各部のなまえ	56
用語解説	59
索引	裏表紙

この取扱説明書では、リモコンのボタンを使った操作説明を主体にしています。
リモコンと同じなまえのビデオ本体のボタンも同じように使えます。

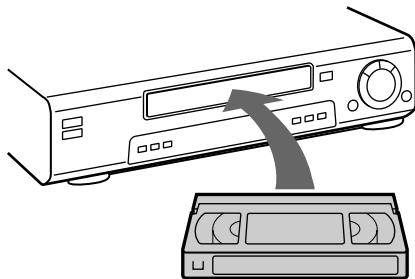
ビデオを見る

S-VHSまたはVHSのビデオテープを再生して見ることができます。ただし、S-VHSの本来の解像度は得られません（簡易再生）。

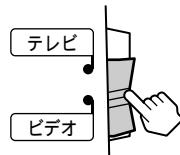


1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

2 カセットを入れる。
ビデオの電源が自動的に入ります。



3 テレビ/ビデオスイッチを「ビデオ」にする。



4 再生▷ボタンを押す。



再生を止めるには

停止■ボタンを押します。

再生を一時停止するには

一時停止■ボタンを押します。

もう1度押すか5分以上たつと、再生に戻ります。

巻き戻し・早送りするには

停止中に巻戻し◀◀ボタンまたは早送り▶▶ボタンを押します。

巻き戻し中または早送り中にもう1度押すと、押している間、画像が見られます。

△注意

小さなお子様がカセット挿入口に手を入れないよう
にご注意ください。けがをすることがあります。

ちょっと一言

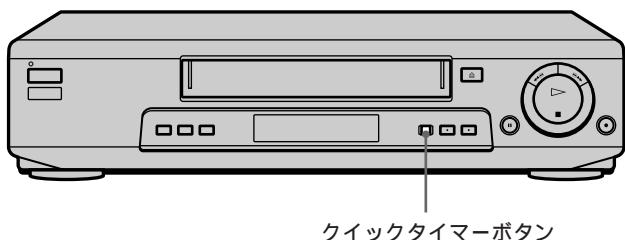
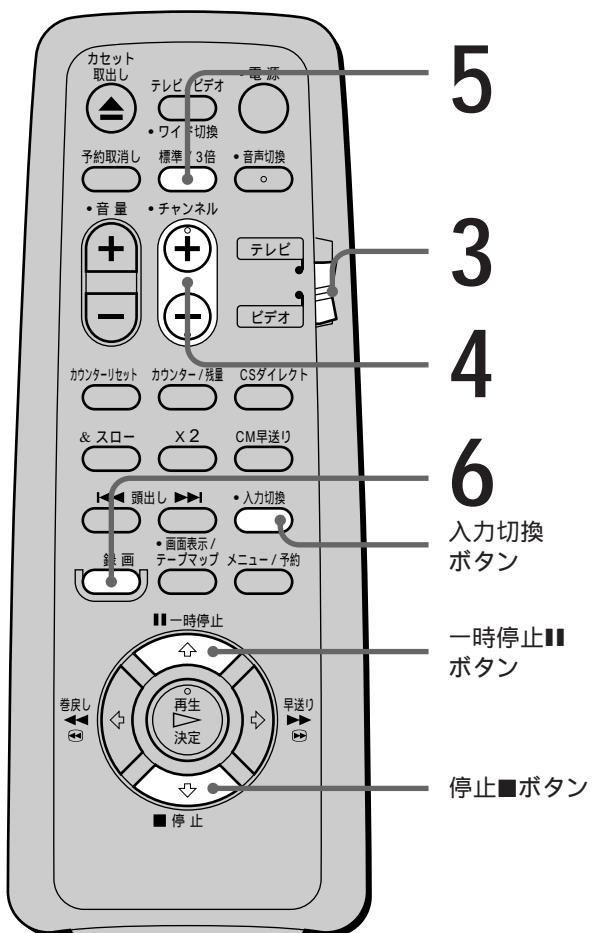
- ・ツメの折れたカセットを入れると自動的に再生が始まります。
- ・二か国語放送などの音声を切り換えるには、音声切換ボタンを押します( 14ページ)。

ご注意

- ・カセット挿入口にVHSカセット以外のものを入れないでください。故障の原因になります。

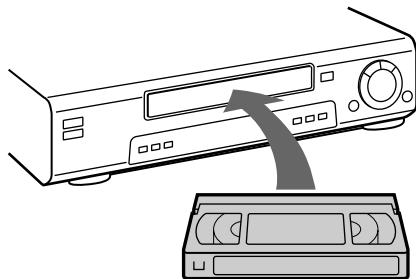
録画する

テレビで見ている番組を録画したり、裏番組を録画したりできます。



1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

2 カセットを入れる。
ビデオの電源が自動的に入ります。



3 テレビ/ビデオスイッチを「ビデオ」にする。



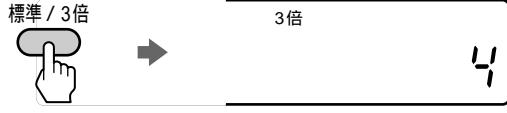
4 チャンネル +/- ボタンを押して録画するチャンネルを選ぶ。
+ ボタンを押すたびに次のように切り換わります。



- BSチューナー内蔵テレビで受信したBS放送を録画するには「L」(テレビのBS出力とつないでいる本機の入力端子)を選びます。その後、テレビの入力を「テレビ」に切り換えて、録画したいBSチャンネルをテレビで選びます。

5 標準/3倍ボタンを押して、録画モードを選ぶ。

長時間録画したいときは、ビデオ本体の表示窓に「3倍」を出します。「標準」より3倍長く録画できます。画質は「標準」の方が優れています。

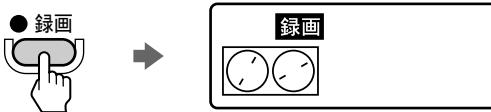


ちょっと一言

- 本機の入力端子につないだ機器を録画するときは、手順4で入力切換ボタンを押しても選べます。

6 録画●ボタンを押す。

このあとテレビの電源を切っても、録画に影響はありません。



- BSチューナー内蔵テレビで受信したBS放送を録画しているときは
BSチャンネルを変えないでください。録画されるチャンネルが変わってしまいます。BSチューナー内蔵テレビの種類によっては、テレビの電源を切ると録画できない場合もあります。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

録画中に裏番組を見るには

テレビの入力を「テレビ」に切り換えて、テレビのチャンネルを選びます。録画に影響はありません。

録画を止めるには

停止■ボタンを押します。

録画を一時停止するには

一時停止■ボタンを押します。録画一時停止が5分以上続くと自動的に停止します。

録画中に録画を止めるまでの時間を決めるには

録画中に、30分単位で録画を止めるまでの時間を決めることができます。

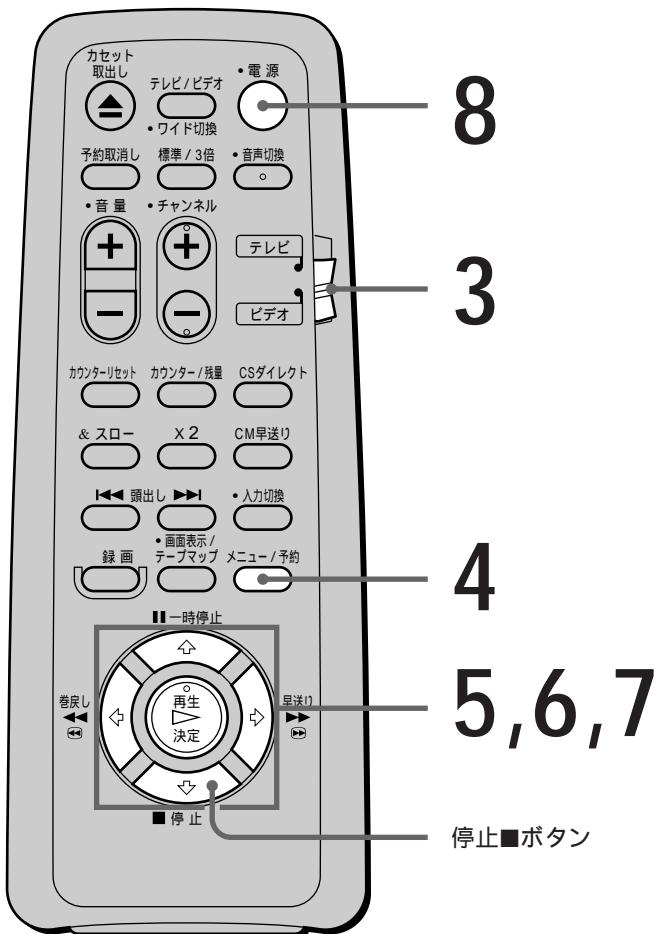
録画中にビデオ本体のクイックタイマーボタンを押します。押すたびに30分ずつ時間が増えます。時間は、30分後(0:30)から11時間後(11:00)まで選べます。「0:00」のままで約30秒たつと電源が切れてしまいます。

こんなときは

- 録画●ボタンを押すと、カセットが出てくる。カセットのツメが折れています。セロハンテープなどを貼ってツメの穴をふさいでください(☞49ページ)。

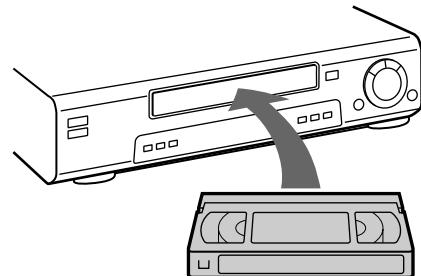
予約する

1か月先までの番組や、毎日または毎週の番組を予約できます。あわせて8番組まで予約できます。

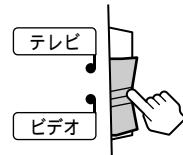


1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

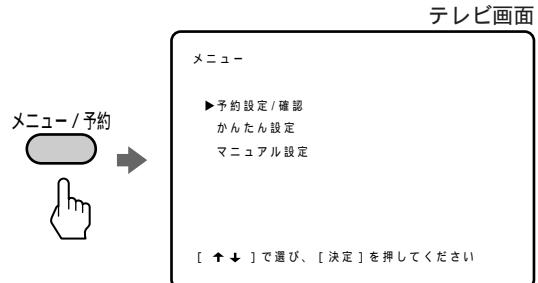
2 カセットを入れる。
ビデオの電源が自動的に入ります。



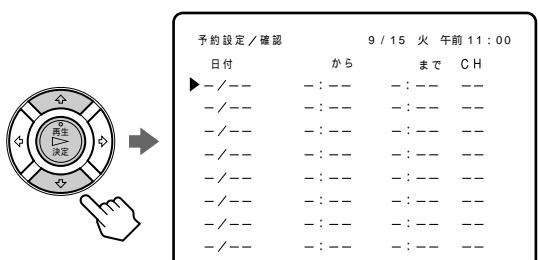
3 テレビ/ビデオスイッチを「ビデオ」にする。



4 メニュー/予約ボタンを押す。



5 ↑/↓で「予約設定/確認」を選び、決定ボタンを押す。

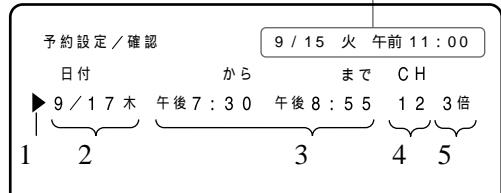


6

↑/↓/←/→で日時とチャンネルを選ぶ。



今日の日付



1 ↑/↓で予約を入れる行を選び、→を押す。

2 ↑/↓で日付を選び、→を押す。

毎日または毎週同じ番組を予約するときは、↓を押して選びます。

今日(9/15) 毎日 毎週月～土 毎週月～金
毎週土 毎週日 1か月先の日(10/14
..... 今日(9/15)

- 間違えたときは

←を押して前の項目に戻ります。

- 途中でやめるときは

メニュー/予約ボタンを押します。

3 ↑/↓で時刻を選び、→を押す。

4 ↑/↓でチャンネルを選び、→を押す。

↑を押すたびに次のように切り換わります。

VHF/UHFチャンネル(CH1、CH3、...) 入力(L)

- 本機の入力端子につないだ機器を予約するには

「入力」を選びます。

- BSチューナー内蔵テレビで受信したBS放送を予約するには

「入力」(テレビのBS出力とつないでいる本機の入力端子)を選びます。その後テレビの入力を「テレビ」に切り換えて、録画したいBSチャンネルをテレビで選びます。

5 ↑/↓で録画モード(標準/3倍)を選ぶ。

長時間録画したいときは「3倍」にします。

6 →を押す。

選んだ行に予約が入ります。

7 続けて予約するときは、手順1～6をくり返す。

7

決定ボタンを押す。

メニューが消えます。



8

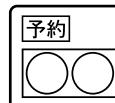
電源スイッチを押して、ビデオの電源を切る。

ビデオ本体の「予約」表示が点灯して、予約待機になります。

・電源



ビデオ本体の表示窓



予約録画中に録画を止めるには

停止■ボタンを押します。

予約待機中にビデオを使うには

電源スイッチを押して電源を入れ、ビデオ本体の「予約」表示を消します。この状態でビデオが使えます。予約開始時刻になる前に、予約用のカセットを入れて、電源を切っておきます(「予約」表示が点灯)。電源が入った状態では、予約録画できません。

ちょっと一言

- 次の日にまたがる番組は、開始する日付はそのまで終了時刻を合わせます。終了時刻は自動的に次の日に設定されます。

ご注意

- BSチューナー内蔵テレビで受信したBS放送を予約した後で、テレビのBSチャンネルを変えたときは、予約開始時刻になる前に、テレビのチャンネルを予約したBS放送のチャンネルに戻してください。他のBSチャンネルになっていると、予約録画されるチャンネルが変わってしまいます。

こんなときは

- 手順8でビデオの電源を切ったあと、カセットが出てくる。

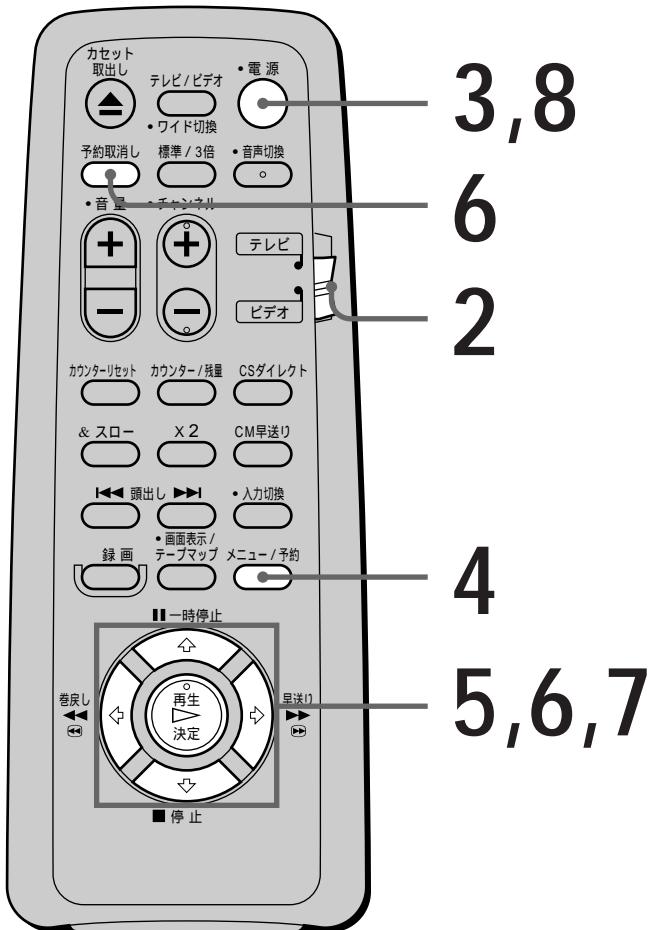
カセットのツメが折れています。セロハンテープなどを貼ってツメの穴をふさいでください(☞49ページ)。

- 予約したのに録画されていない。

ビデオの時計で日付と時刻を正しく合わせてください(☞40ページ)。

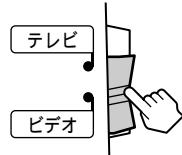
予約を確認する・ 変更する・取り消す

テレビ画面を使って、予約の確認、変更、取り消しができます。



1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

2 テレビ/ビデオスイッチを「ビデオ」にする。

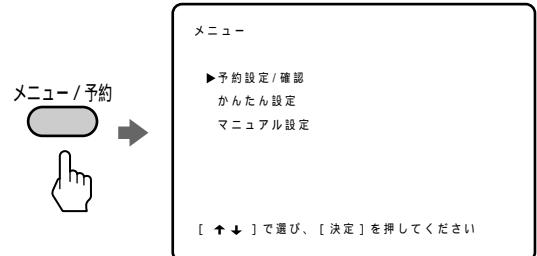


3 電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。
予約待機が解除されます。

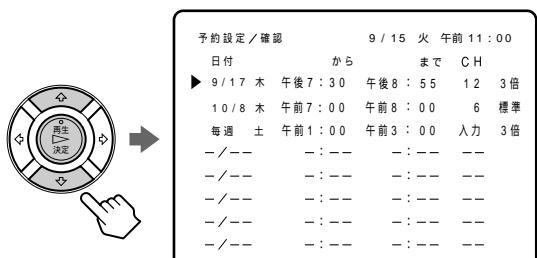


4 メニュー/予約ボタンを押す。

テレビ画面



5 ↑/↓で「予約設定/確認」を選び、決定ボタンを押す。



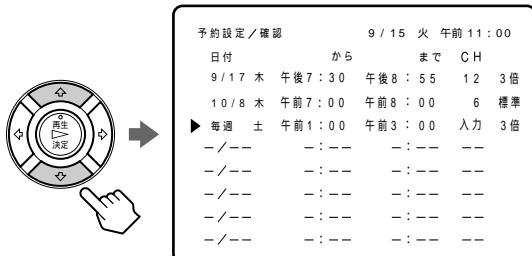
6

• 予約を確認するには

予約の内容がテレビ画面に表示されています。確認してください。

• 予約を変更するには

1 で変更する予約内容を選ぶ。

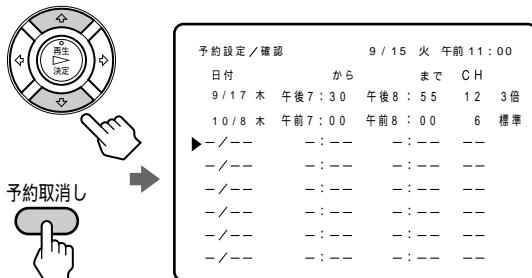


2 で変えたい項目を選び、で変更する。



• 予約を取り消すには

で取り消す内容を選び、予約取消しボタンを押す。



続けて別の予約を変更または取り消すときは、手順6をくり返します。

7

決定ボタンを押す。

メニューが消えます。



8

電源スイッチを押して、ビデオの電源を切る。

予約待機に戻ります。ただし、予約をすべて取り消した場合は予約待機にはなりません。

• 電 源

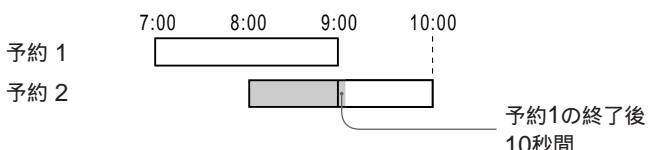


予約が重なったり連続したときは

で示した部分は録画しません。

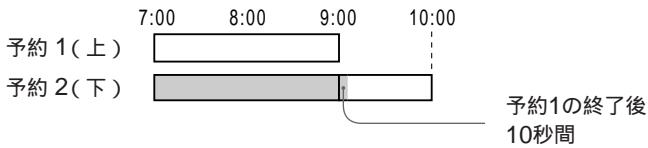
予約時間帯が重なっているとき

先に始まる予約が優先されます。



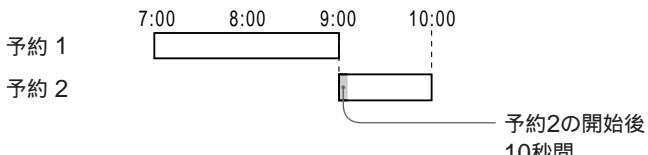
予約開始時刻が同じとき

「予約設定/確認」画面で、上に表示される予約が優先されます。



一方の予約の終了時刻と、もう一方の予約の開始時刻が同じとき

後から始まる予約の最初の10秒間が録画されません。

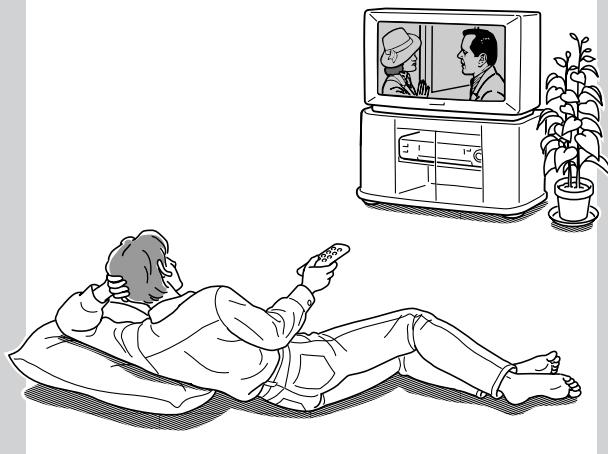


再生

ここでは、再生するときに使えるいろいろな機能について説明します。

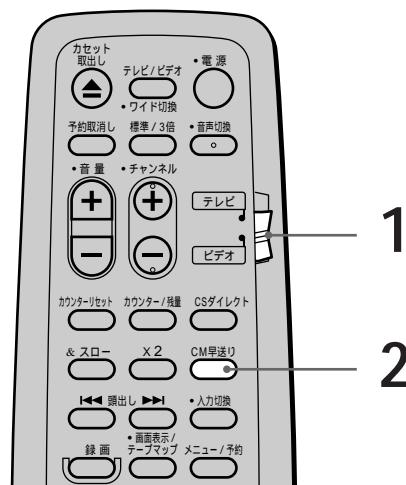
スロー・2倍速などの变速再生や、録画した番組のとばしたい部分(CMなど)を早送りできるほか、録画した内容をテレビ画面に表示して頭出ししたり、また1本のテープに録画した各番組を頭出ししたりできます。

また、二か国語放送などの主音声・副音声の切り換え、テープカウンターやテープ残量の表示、画像と音声の調整など、再生に役立つ機能もあります。

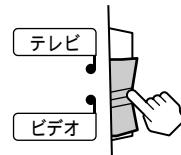


CMをとばす

録画したテープを見ているときに、CMなど、とばしたい部分を早送りすることができます。



1 テレビ/ビデオスイッチを「ビデオ」にする。



2 再生中にとばしたい部分で、CM早送りボタンを押す。
テープの30秒ぶんを早送りしたあと、自動的に再生に戻ります。早送り中は、音声は出ません。



続けて1分以上早送りするには

CM早送りボタンを2回以上押します。

押すたびに30秒ずつ、最長2分間(4回押したぶん)まで早送りします。

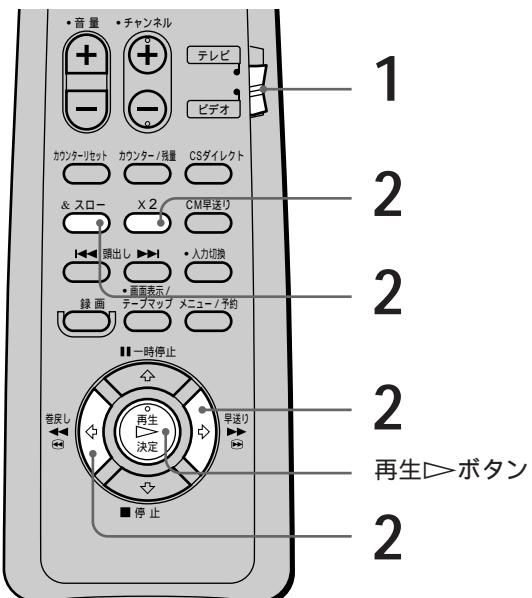
ご注意

- ・録画中は、CM早送りボタンは働きません。

速さを変えて見る

いろいろな速さで画像を見たり、1コマずつ送って見ることができます。再生の速さを変えると、音声は出ません。

速さを変える



1 テレビ/ビデオスイッチを「ビデオ」にする。



2 再生中に変えたい画像の速さのボタンを押す。

画像の速さ	操作
スロー	スロー▶ボタンを押す。
2倍速	X2ボタンを押す。
早送り再生	<ul style="list-style-type: none"> 早送り▶ボタンを押す (リモコンのみ) 早送り▶ボタンを1秒以上押し続けると、押している間早送り再生する。
巻き戻し再生	<ul style="list-style-type: none"> 巻戻し◀ボタンを押す (リモコンのみ) 巻戻し◀ボタンを1秒以上押し続けると、押している間巻き戻し再生する。

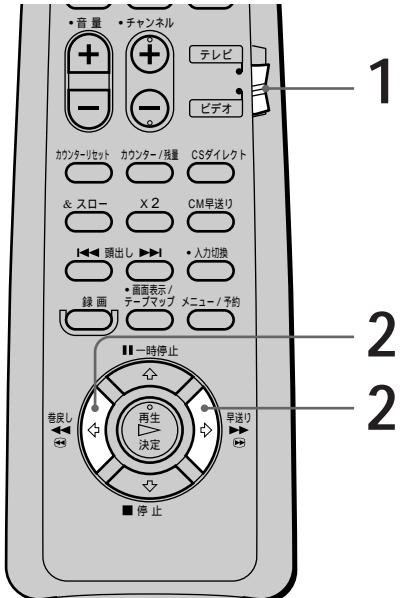
ふつうの再生に戻すには

再生▶ボタンを押します。

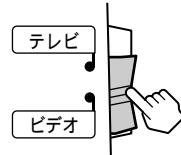
ちょっと一言

- スローで見ているときに2分以上たつと、自動的にふつの再生になります。

コマ送りで見る



1 テレビ/ビデオスイッチを「ビデオ」にする。



2 再生一時停止中にリモコンの早送り▶ボタンまたは巻戻し◀ボタンを押す。早送り方向は早送り▶ボタン、巻き戻し方向は巻戻し◀ボタンを押します。押し続けると連続してコマ送りします。

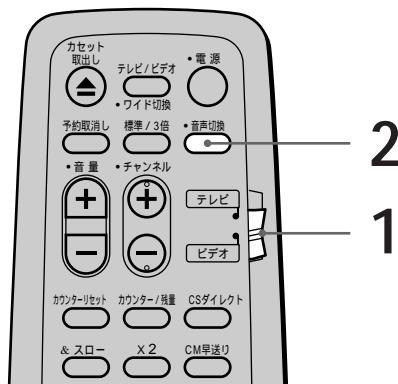


二か国語放送などの音声を切り換える

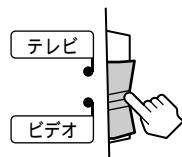
二か国語放送などを録画したテープを再生すると、主音声と副音声が同時に聞こえます。聞きたい音声に切り換えてください。ステレオ放送を録画したテープは、自動的にステレオで聞こえます。

ご注意

- ・音声切換ボタンは、次のとき働きません。
 - モノラルビデオで録画したテープを再生したとき
(常にモノラル)
 - ステレオ放送を受信しているとき
 - メニューの「各種設定1」で「音声ミックス」を「入」にしたとき(48ページ)



- 1 テレビ/ビデオスイッチを「ビデオ」にする。



- 2 再生中に音声切換ボタンを押す。
ボタンを押すたびに、画面に出る表示と聞こえる音声が次のように切り換わります。



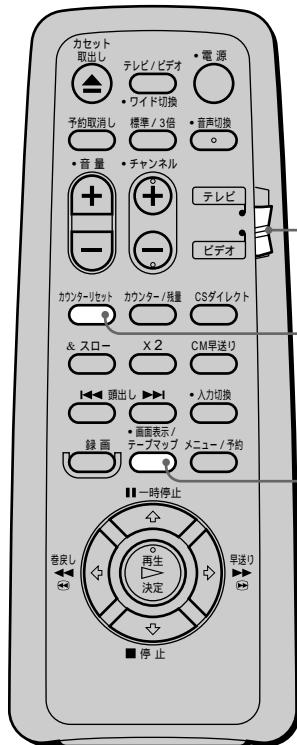
画面に出る表示	聞こえる音声	
二か国語放送	二か国語放送	ステレオ放送
ステレオ*	主音声と副音声の混合	ステレオ
主/左*	主音声	左チャンネル
副/右*	副音声	右チャンネル
表示なし	主音声	モノラル

* ビデオ本体に「ステレオ/二重音声」表示が出ます。

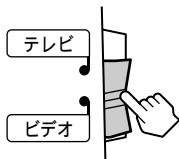
画面表示やテープ残量を見る

テープカウンターとテープ残量をテレビ画面で見たり、テープ残量を時間表示することができます。残量表示はテープの残りを知る目安としてお使いください。

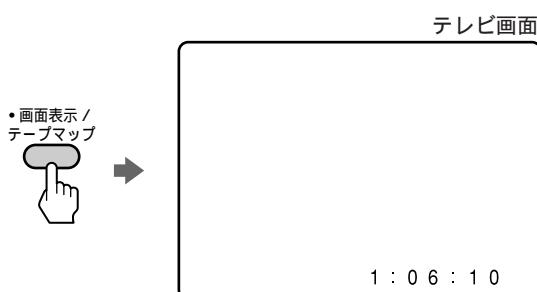
画面表示を見る



1 テレビ/ビデオスイッチを「ビデオ」にする。



2 画面表示/テープマップボタンを押す。テープカウンターが出ます。
くり返し押すと元に戻ります。



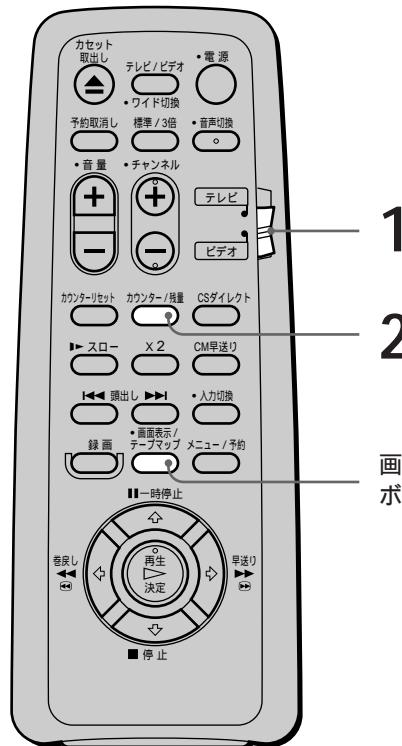
テープカウンターを「0:00:00」に戻すには

カウンタリセットボタンを押します。テープを入れ替えたときも「0:00:00」になります。ビデオ本体では「0H00M00S」表示になります。

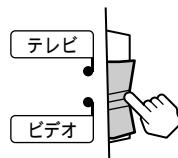
ちょっと一言

・「再生」や「早送り」など操作時に自動的に出てくる走行表示を消したいときは、メニューの「各種設定1」で「自動画面表示」を「切」にしてください(48ページ)。

テープ残量を時間表示する



1 テレビ/ビデオスイッチを「ビデオ」にする。



2 カウンター/残量ボタンを押す。
もう1度押すとカウンター表示に戻ります。



次のページにつづく

画面表示やテープ残量を見る (つづき)

ちょっと一言

- ・テープ残量を時間表示にするには、あらかじめメニューの「各種設定2」の「テープ残量切りかえ」(48ページ)でテープの長さを選んでください。
- ・テープ残量を時間表示しているとき、画面表示/テープマップボタンを押すと、テレビ画面でも表示を見ることができます。

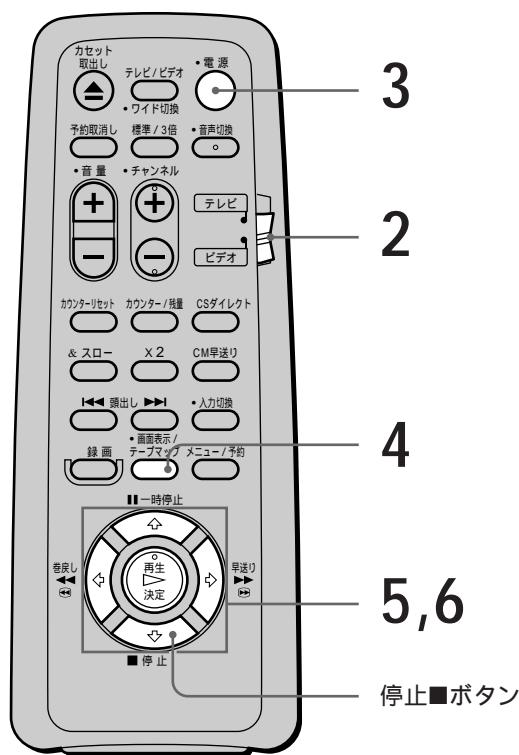
ご注意

- ・VHS-Cカセットアダプターを使用した場合、残量表示は正しく表示されません。
- ・テープの種類によっては残量表示が正しく表示されないことがあります。
- ・テープ残量の時間表示が出ないときは、しばらく再生などの操作をしてください。

録画した番組を頭出し する(テープマップサーチ)

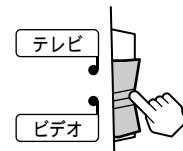
1本のテープに続けて録画をすると、録画した番組の内容(日時、チャンネル)をテレビ画面に表示することができます。さらに表示した番組の頭出しができます。

録画したカセットは、ビデオに入れたままにしておきます。カセットを取り出すとテープマップサーチはできません。



1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

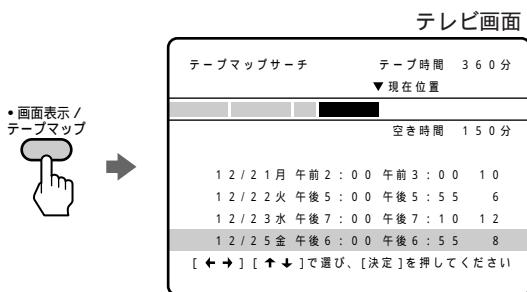
2 テレビ/ビデオスイッチを「ビデオ」にする。



3 電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。

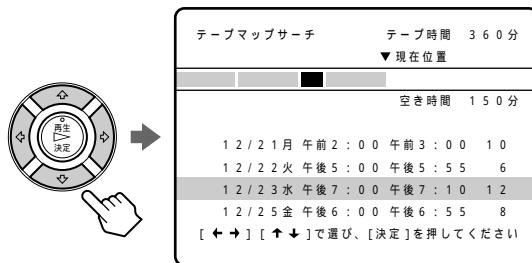
4

画面表示/テープマップボタンをくり返し押して、テープマップサーチ画面を選ぶ。



5

↑/↓/←/→で頭出ししたい録画の内容を選ぶ。
↓/→で次の番組を、↑/←で前の番組を選ぶことができます。



6

決定ボタンを押す。
選んだ番組を頭出しして再生します。



番組の頭出しを途中でやめるには

停止■ボタンを押します。

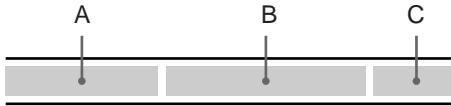
番組を録画していない部分に録画するときは

録画を始める位置まで、テープを送ることができます。手順5で空白の行を選び、決定ボタンを押します。選んだ部分の頭まで早送りまたは巻き戻しをして、停止します。

録画した番組に他の番組を重ねて録画したときは

重ねて録画した番組の後ろにある番組はリストから消え、テープマップサーチはできません。前にある番組はリストに表示されます。

テープマップサーチで録画した番組



番組Dを重ねて録画する



再生

ちょっと一言

- リストには最大24番組まで表示されます。
- テープ時間を表示するには、あらかじめメニューの「各種設定2」の「テープ残量切りかえ」(48ページ)でテープの長さを選んでください。
- あらかじめメニューの「各種設定1」の「テープマップサーチ」を「自動」にしておくと、予約録画やデジタルCSシンクロ録画のあと手順3でビデオの電源を入れたときに、テープマップサーチ画面を自動で表示できます(48ページ)。
- 録画中に画面表示/テープマップボタンを押すとテープマップサーチ画面を表示できます。ただし番組を選んで頭出しすることはできません。録画を止めることは、画面表示/テープマップボタンを押してテープマップサーチ画面を消してから操作してください。
- 録画の方法にかかわらず、テープマップサーチはできます。

ご注意

- 一度取り出したカセットのテープマップサーチはできません。
- 時計が設定されていないとテープマップサーチはできません。
- テープの種類によっては、テープ時間および空き時間が正しく表示されないことがあります。
- 番組の録画時間が短いとき(テープ時間の24分の1未満のとき)は、テープマップサーチができないことや、リストに表示されないことがあります。また、一度リストに表示された番組でも、次の番組を録画すると、リストから消えることがあります。
- テープマップサーチができないときでも、「番組を頭出します」(18ページ)で頭出しができます。
- 空き時間は、リストの最後に表示された番組の終わりからテープの終わりまでの時間です。また、テープマップサーチを始める前に録画した番組は、空き時間として表示されます。

番組を頭出しする

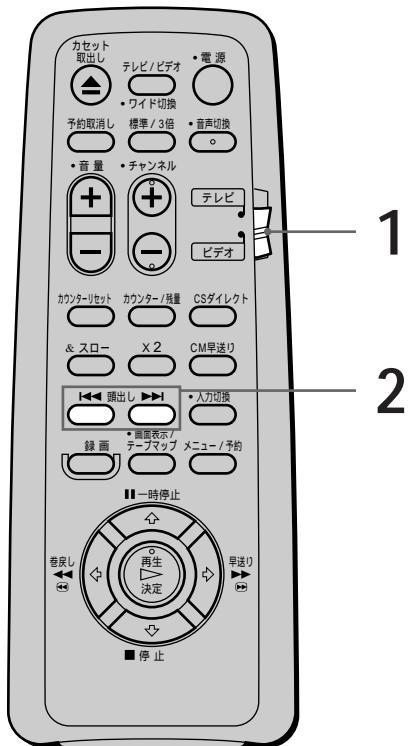
番組の頭出しや、テープの頭まで巻き戻して自動的に再生することができます。

番組の頭から再生する

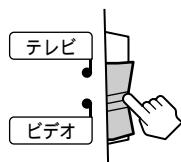
いくつかの番組を1本のテープに録画したときは、前後の番組の頭出しができます。

頭出し信号は次のときに自動的に付きます。

- ・録画ボタンを押したとき
- ・録画一時停止中にチャンネルを変えて、再び録画を始めたとき
- ・予約録画が始まったとき



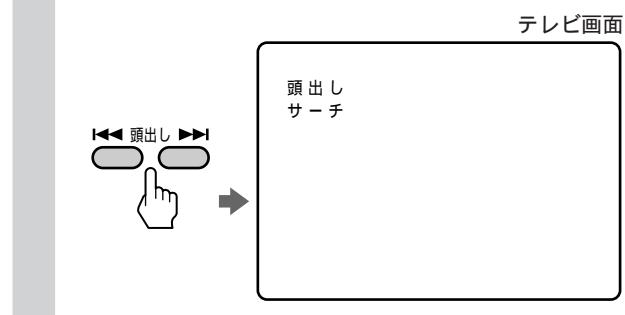
- 1 テレビ/ビデオスイッチを「ビデオ」にする。



2

停止中に頭出し◀◀/▶▶ボタンを押す。

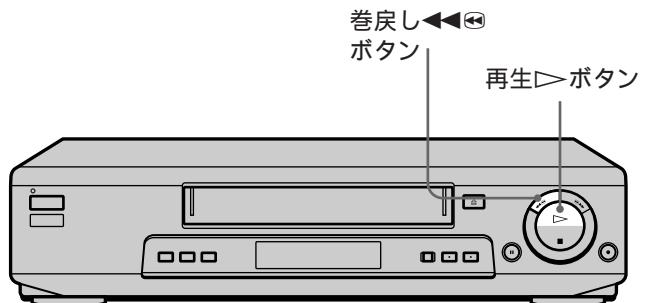
▶▶で次の番組を、◀◀で前の番組を頭出しして再生します。



ちょっと一言

- ・「頭出し」表示が画面に出ないときは、メニューの「各種設定1」で「自動画面表示」を「入」にしてください（[48ページ](#)）。
- ・他機で録画した頭出し信号の付いたテープも、本機で頭出しできます。

テープの頭から自動的に再生するには（オートプレイ）



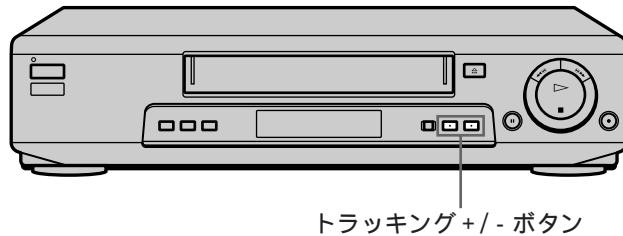
停止中にビデオ本体の巻戻し◀◀ボタンを押しながら、再生▷ボタンを押す。

テープの頭まで巻き戻り、自動的に再生が始まります。

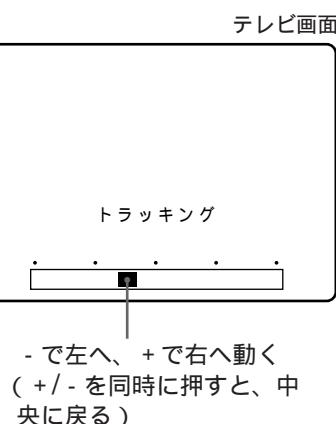
画像と音声を調整する(トラッキング)

再生画像が乱れたり雑音が出るときは、手動でトラッキングを調整してください。通常はトラッキング自動調整が働いて、きれいな画像で見ることができます。

再生



再生中にトラッキング + / - ボタンを押して調整する。
ビデオ本体の表示窓に図表示が出ます。



- で左へ、+ で右へ動く
(+ / - を同時に押すと、中央に戻る)

トラッキングを自動調整に戻すには

カセットを入れ直します。ビデオ本体の表示窓に図表示が点滅し、調整が終わると消えます。

ご注意

- 他のビデオで録画したカセットや録画状態の悪いカセットでは、チラつきが充分に消えないことがあります。
- ハイファイ音声がノーマル音声に変わることがあります。
- スローのチラつきは、スロー再生中にトラッキング + / - ボタンを押して調整してください。
- 再生一時停止中の縦ゆれは、再生一時停止中にトラッキング + / - ボタンを押して調整してください。

録画・予約

ここでは、次のような録画と予約について説明します。

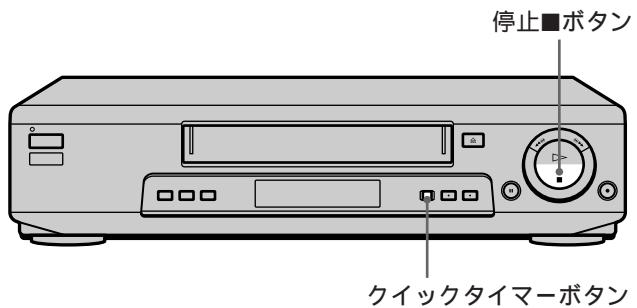
- ・何時間後に録画を止めるかを決めるクイックタイマー。
- ・別売りのデジタルCSチューナーを使う、デジタルCS放送の録画。



決めた時間だけ録画する(クイックタイマー)

何時間後に録画を止めるかを決められます。急用で出かけるときや、眠くなったときに便利です。

録画中に録画を止めるまでの時間を決める



録画中にクイックタイマーをくり返し押して、録画を止めるまでの時間を選ぶ。

押すたびに、30分ずつ時間が増えます。時間は30分後(0:30)から11時間後(11:00)まで選べます。「0:00」のままで30秒たつと電源が切れてしまいます。



1時間30分後に録画を止めたいとき



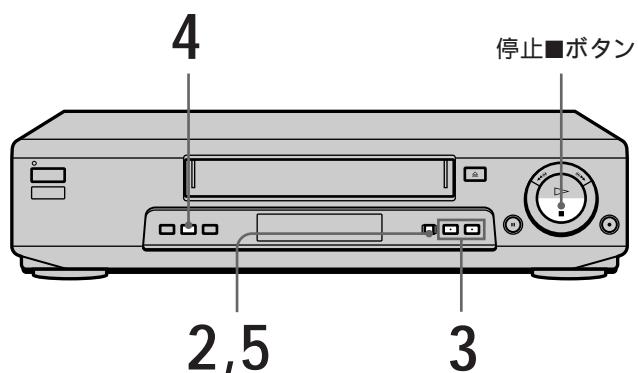
指定した時間がたつと、自動的に録画が止まり電源が切れます。

録画を止めるまでの時間を変えるには

クイックタイマーをくり返し押して、その時点から録画を止めるまでの時間を選びます。

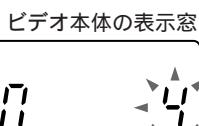
クイックタイマーの途中で録画を止めるには停止■ボタンを押します。

録画を止めるまでの時間を決めてから録画を始める



- 1 カセットを入れる。
ビデオの電源が自動的に入ります。

- 2 クイックタイマーを押す。



- 3 本体のチャンネル+/-ボタンを押して、
チャンネルを選ぶ。
+ボタンを押すたびに次のように切り換わり
ます。

VHF/UHFチャンネル(CH1、CH3、...) 入力(L)



- 4 標準/3倍ボタンを押して録画モードを選ぶ。



- 5 クイックタイマーをくり返し押して、録画を止めるまでの時間を選ぶ。
録画が始まり、指定した時間がたつと電源が切れます。

1時間30分後に録画を止めたいとき



録画を止めるまでの時間を変えるには

クイックタイマーをくり返し押して、その時
点から録画を止めるまでの時間を選びます。

クイックタイマーの途中で録画を止めるには 停止■ボタンを押します。

別売りのデジタルCSチューナーから録画する

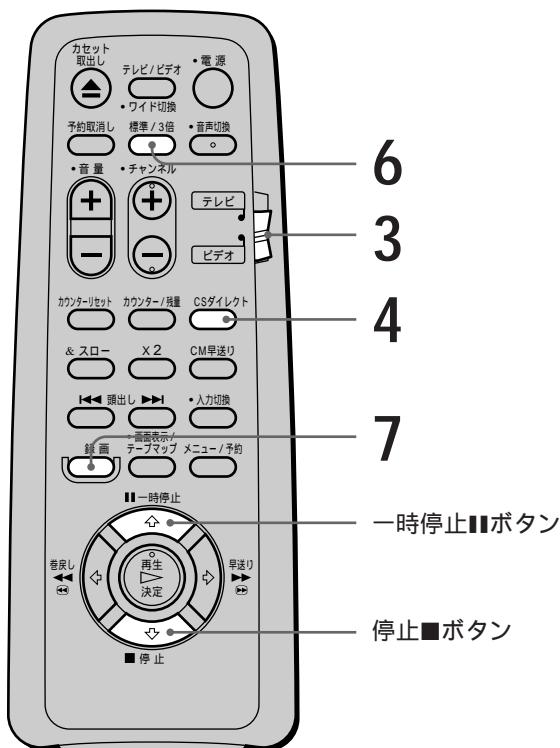
別売りのデジタルCSチューナーをつなぐと、デジタルCS放送の録画ができます。番組予約機能の付いたデジタルCSチューナーと組み合わせると、予約録画もできます。デジタルCSチューナーは、本機の入力端子につなぎます(44ページ)。

ご注意

- ・録画防止機能(コピーガード)がかかっている番組は録画できません。詳しくは、デジタルCSチューナーに付属の取扱説明書をご覧ください。

デジタルCS放送を録画する

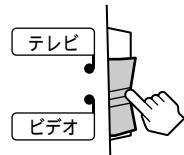
本機の入力端子につないだデジタルCSチューナーから、デジタルCS放送を録画することができます。



1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

2 カセットを入れる。

3 テレビ/ビデオスイッチを「ビデオ」にする。



4

- ・ソニーのデジタルCSチューナーをつないでいる場合
CS DIRECTボタンを押す。
ビデオの入力が「L」に切り換わり、デジタルCSチューナーの電源が入ります(デジタルCS DIRECT)。



- ・他社のデジタルCSチューナーをつないでいる場合

1 CS DIRECTボタンを押す。
ビデオの入力が「L」に切り換わります。



2 デジタルCSチューナーの電源を入れる。

5

デジタルCSチューナーで番組を選ぶ。

6

標準/3倍ボタンを押して、録画モード(標準/3倍)を選ぶ。



7

録画●ボタンを押す。
ビデオ本体の「録画」表示が点灯して、録画が始まります。



録画中にテレビで裏番組を見るには

テレビの入力を「テレビ」に切り換えて、テレビのチャンネルを選びます。録画に影響はありません。

録画を止めるには

停止■ボタンを押します。

録画を一時停止するには

一時停止■ボタンを押します。録画一時停止が5分以上続くと自動的に停止します。

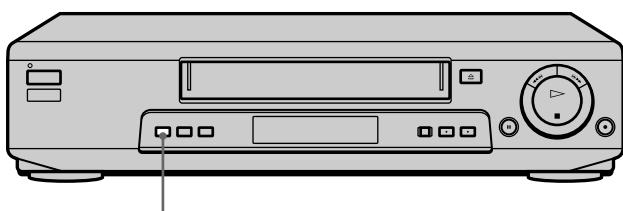
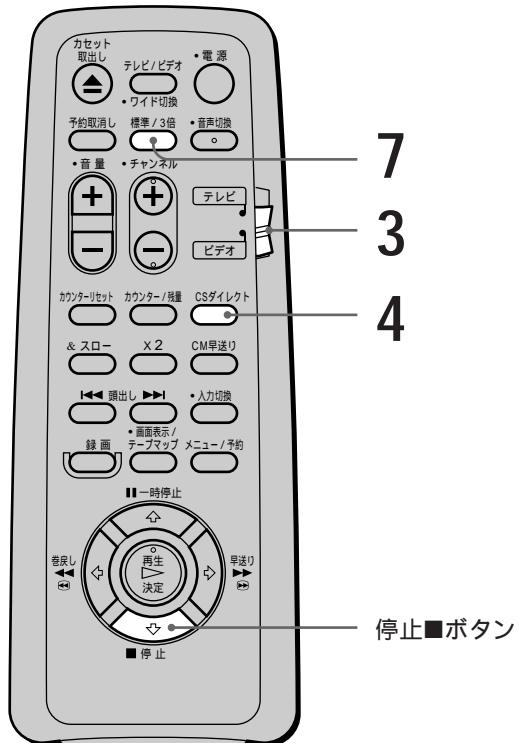
ご注意

- ・デジタルCS放送の録画中はデジタルCSチューナーの電源を入れたままにしておいてください。

デジタルCS放送を予約録画する

(デジタルCSシンクロ録画)

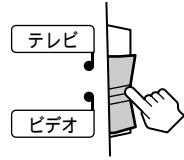
本機の入力端子につないだデジタルCSチューナー、番組予約機能があるときは、デジタルCSチューナーの電源と連動させて予約録画ができます。予約開始時刻にデジタルCSチューナーの電源が入ると、本機が感知し、自動的にビデオ入力「L」の録画が始まります。番組予約機能がある機器(CATVチューナーなど)も本機の入力端子につなぐと、この方法で予約録画ができます。



1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

2 カセットを入れる。

3 テレビ/ビデオスイッチを「ビデオ」にする。



4 • ソニーのデジタルCSチューナーをつないでいる場合

CSダイレクトボタンを押す。
ビデオの入力が「L」に切り換わり、デジタルCSチューナーの電源が入ります(デジタルCSダイレクト)。



• 他社のデジタルCSチューナーをつないでいる場合

1 CSダイレクトボタンを押す。
ビデオの入力が「L」に切り換わります。



2 デジタルCSチューナーの電源を入れる。

5 デジタルCSチューナーで番組予約をする。

6 デジタルCSチューナーの電源を切る。

7 標準/3倍ボタンを押して、録画モード(標準/3倍)を選ぶ。



8 シンクロ録画ボタンを2秒以上押す。
シンクロ録画ボタンが点灯して、ビデオ本体が予約待機になります。



別売りのデジタルCSチューナーから録画する(つづき)

予約待機を取り消すには

シンクロ録画ボタンを押して、ボタンを消灯します。

予約録画中に録画を止めるには

停止■ボタンを押します。

予約待機中にビデオを使うには

電源スイッチを押して電源を入れ、シンクロ録画ボタンを消灯させます。この状態でビデオが使えます。予約開始時刻になる前に、予約用のカセットを入れて、シンクロ録画ボタンを2秒以上押します(ボタンが点灯)。電源が入った状態では、予約録画できません。

予約待機中にデジタルCSチューナーを使うには

シンクロ録画ボタンを押して、ボタンを消灯させます。この状態でデジタルCSチューナーを使います。シンクロ録画ボタンが点灯中に、デジタルCSチューナーの電源を入れると、録画が始まってしまいます。

予約開始時刻になる前に、デジタルCSチューナーの電源を切り、シンクロ録画ボタンを2秒以上押します(ボタンが点灯)。

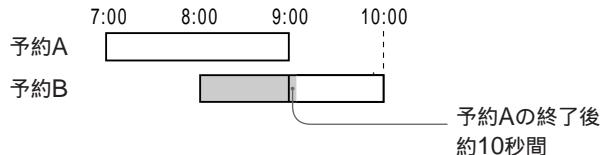
デジタルCSシンクロ録画とビデオ本体の予約が重なったり連続したときは

先に始まる予約が優先されます。

■で示した部分は録画しません。

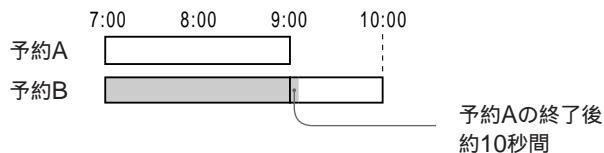
デジタルCSシンクロ録画の予約時間にビデオ本体の予約が重なっているとき

先に始まる予約の録画が終わってから、次の予約が録画されます。

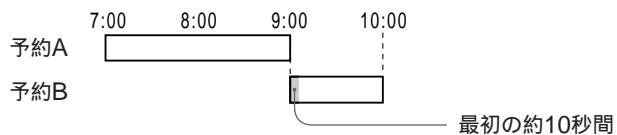


予約開始時刻が同じとき

先に信号を受けた予約が録画されます。



デジタルCSシンクロ録画の終了時刻と、ビデオ本体の予約の開始時刻が同じとき



ご注意

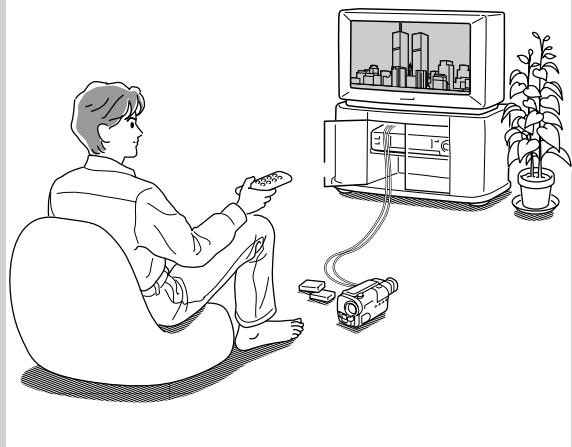
- ビデオマウス付デジタルCSチューナーをつないだ場合、本機のデジタルCSシンクロ録画で、ビデオマウスを使わないでください。
- シンクロ録画予約待機中は、ジャストクロックは働きません。
- シンクロ録画ボタンが点灯中に、デジタルCSチューナーの電源を入れると、録画が始まってしまいます。

ダビング・編集

ここでは、本機に他のビデオデッキやビデオカメラをつないで、テープをそのままダビングしたり、必要なところをつないで編集する操作について説明します。

以下の機器の接続は()内のページをご覧ください。

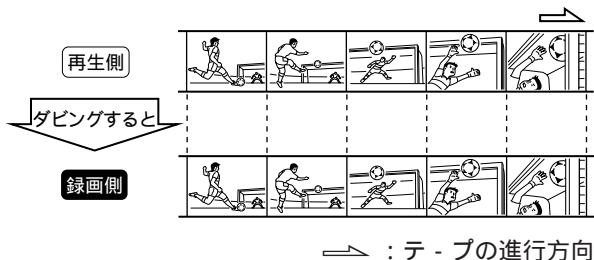
- ・BSチューナー内蔵テレビ・BSチューナー(34ページ)
- ・ケーブルテレビ(CATV)(43ページ)
- ・デジタルCSチューナー(44ページ)



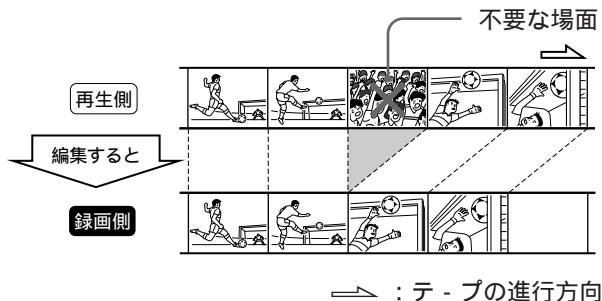
ダビング・編集する

テープの内容を別のテープに録画します。つないだ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

途中で止めずにそのままダビングするとき



好きな場面だけ編集するとき

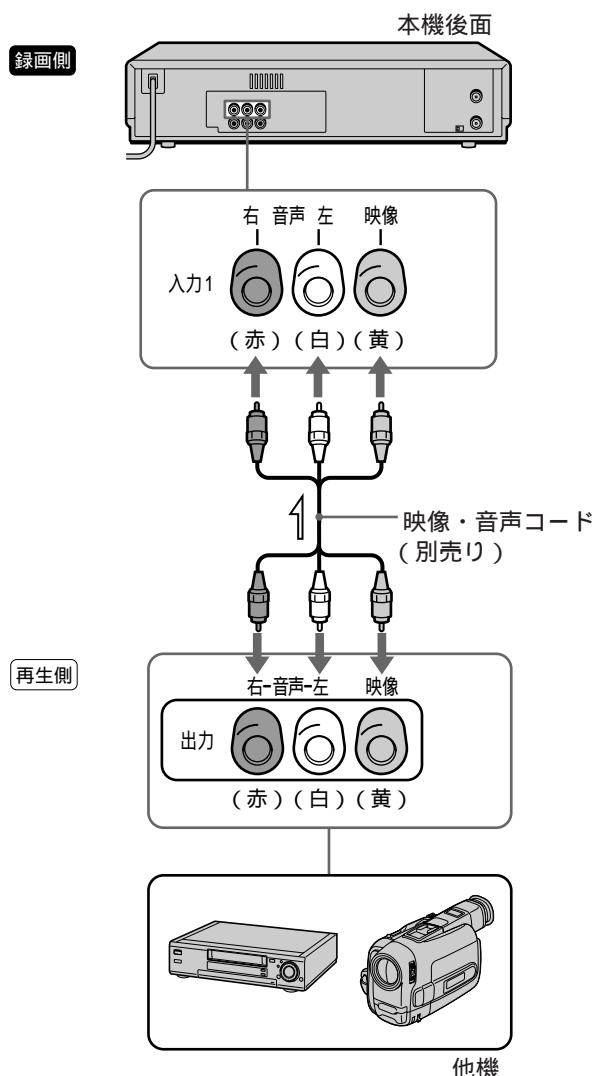


ダビング・編集する(つづき)

接続する

テレビを録画側の機器につなぐと録画される画像が見られます。

本機で録画するとき

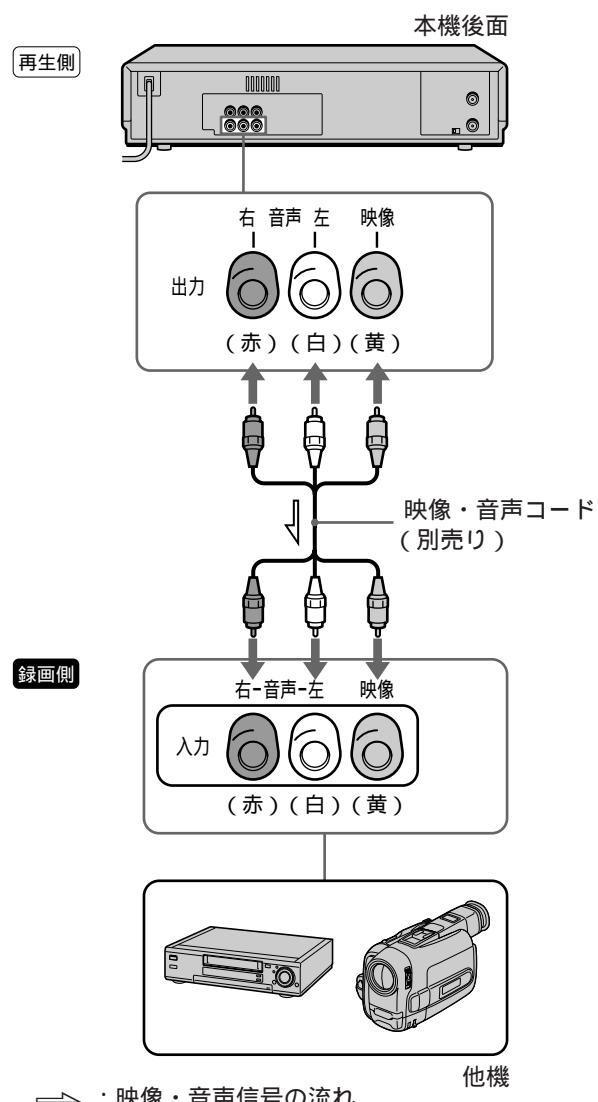


→ : 映像・音声信号の流れ

ご注意

- 本機の出力端子を他機の入力端子へつないだまま、その機器の出力端子を本機の入力端子へつながないでください。ブーンという音が出ることがあります。

本機で再生するとき



テープをダビング・編集する

テープの内容をそのままダビングしたり、好きな場面だけ編集することができます。

1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を録画側の機器に切り換える。

2 **録画側** **再生側**
両方のビデオデッキにカセットを入れる。

3 **録画側**
再生側の機器をつないでいる入力(「入力1」、「入力2」など)にする。
本機が録画側のときは、チャンネル+/-ボタンを押して、ビデオ本体の表示窓に「L」を出します。



4 **再生側**
画面表示を消す。
画面表示を出したままにしておくと、画面表示もいっしょに録画されます。
本機が再生側のときは、メニューの「各種設定1」の「自動画面表示」を「切」にします
(48ページ)。

5 **再生側**
二か国語放送などのテープから録画するときは録音したい音声を選ぶ。
本機が再生側のときは、テープを再生し、音声切換ボタンを押して選びます。
音声切換ボタンが再生側の機器にないときは、この手順をとばします。

6

録画側
録画モードを選ぶ。

本機が録画側のときは、標準/3倍ボタンを押して選びます。

7

録画側
録画一時停止にする。

再生側
再生一時停止にする。

8

録画側 **再生側**
両方の一時停止を解除する。

録画が始まります。

9

好きな場面だけ編集するとき

録画側

画像を見ながら、不要な場面で録画一時停止にする。

再生側

録画を再開したい場面の直前で再生一時停止にする。

手順**8**と**9**をくり返して、好きな場面だけ編集します。

10

録画側 **再生側**

録画が終わったら、両方の停止ボタンを押す。

ご注意

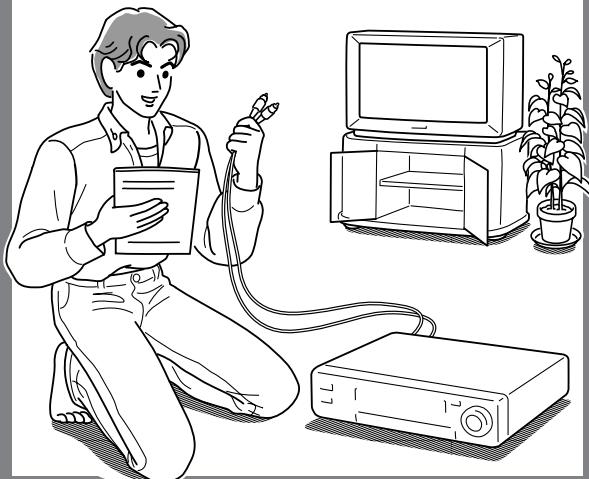
- ・編集したテープを再生すると、場面のつなぎ目で画像が乱れることがあります。

接続と準備

ここでは、本機を使用するために最低限必要なアンテナやテレビなどの接続および、時計やチャンネル合わせなどの準備について説明します。

さらに、BS放送やケーブルテレビ、デジタルCS放送などを楽しみいただける別売りの機器とのつなぎかたも説明しています。

ビデオカメラ・ビデオデッキなどのビデオ機器の接続は **26** ページをご覧ください。



接続と準備の流れ

手順1～5まで済ませれば、本機を使用できる状態になります。それ以外は必要に応じてご覧ください。

手順1：付属品を確かめる **29** ページ

手順2：リモコンを準備する **29** ページ

手順3：アンテナとテレビにつなぐ **30** ページ

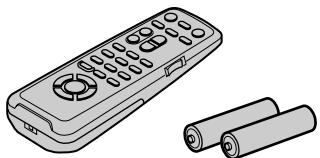
手順4：電源コードをつなぐ **34** ページ

手順5：かんたん設定をする **35** ページ

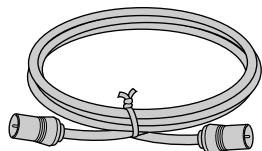
手順1: 付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確かめてください。

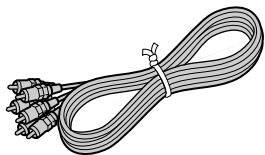
リモコン(1個)と
単3形乾電池(2個)



F型コネクター付き同軸ケーブル(1本)



映像・音声コード(1本)

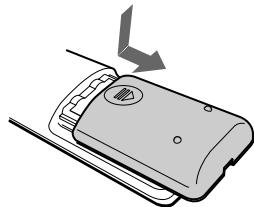


取扱説明書
安全のために
ソニーご相談窓口のご案内
保証書
(各1部)

手順2: リモコンを準備する

乾電池を入れ、リモコンの準備をします。

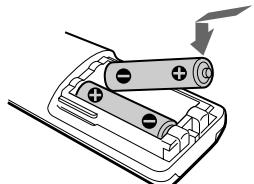
1 裏面のフタを開ける。



2 乾電池を入れる。

必ずイラストのように \ominus 極側から電池を入れてください。

\oplus と \ominus の向きを正しく



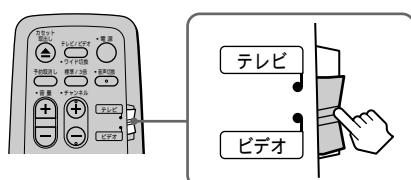
ちょっと一言

・乾電池の交換時期は約6か月です。リモコン操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい乾電池に交換してください。

ご注意

・リモコンの乾電池を交換したときは、テレビのメーカー番号を合わせ直してください(☞45ページ)。

テレビ/ビデオスイッチの切り換えについて



- ・テレビを操作するとき
「テレビ」に切り換えます。
黄色の「・」マークのあるボタンが使えます
(☞45ページ)。
- ・本機を操作するとき
「ビデオ」に切り換えます。
白色の文字のボタンと青色の文字のボタンが使えます。
通常はこの位置にしておきます。

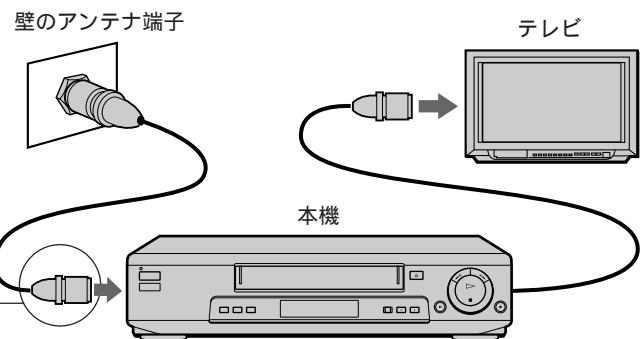
手順3：アンテナとテレビにつなぐ

アンテナ線をつなぐ

アンテナ線は次のようにつなぎます。テレビやお手持ちのビデオにアンテナ線がつながっている場合は、はずして本機につなぎ直します。

アンテナ線の形に合わせて、つなぎかたを選んでください。

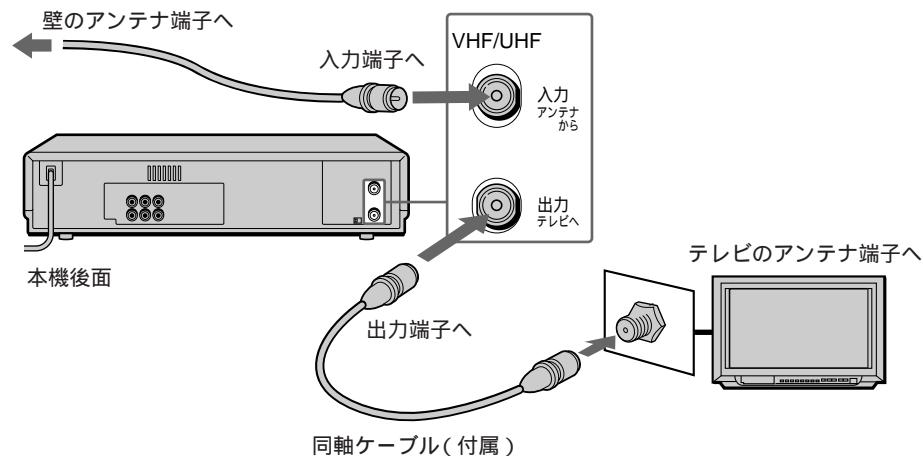
該当する接続がないときは、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。



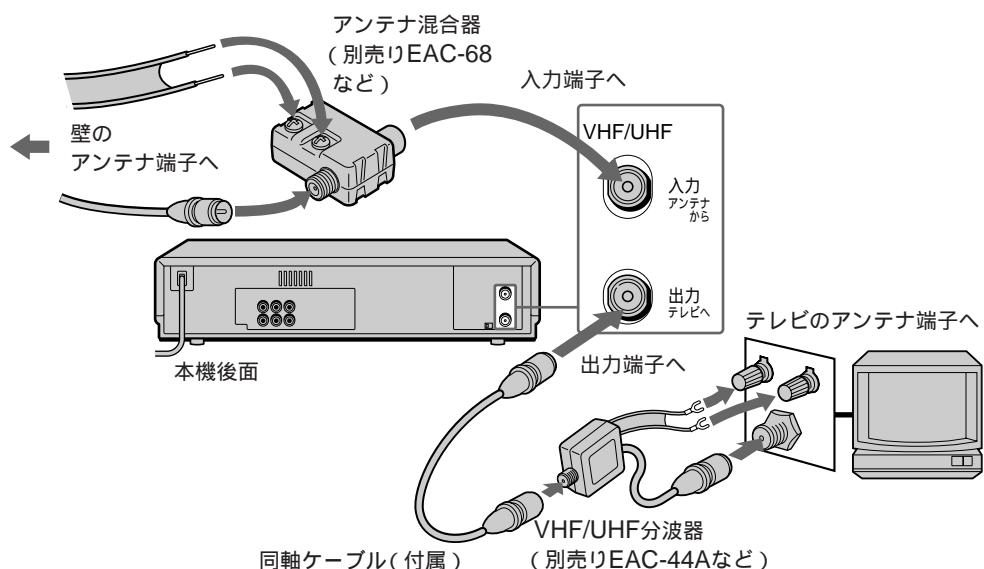
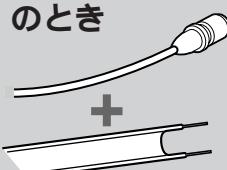
A プラグ付き 同軸ケーブル のとき



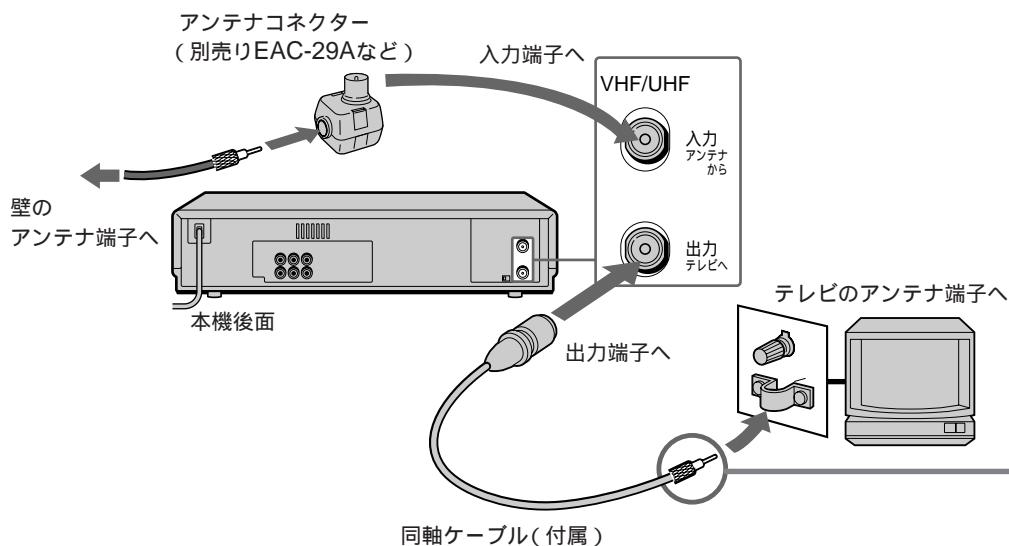
マンションなどの共同受信システムなどで、壁のアンテナ端子がVHF/UHF/BS混合のときはB(32ページ)をご覧ください。



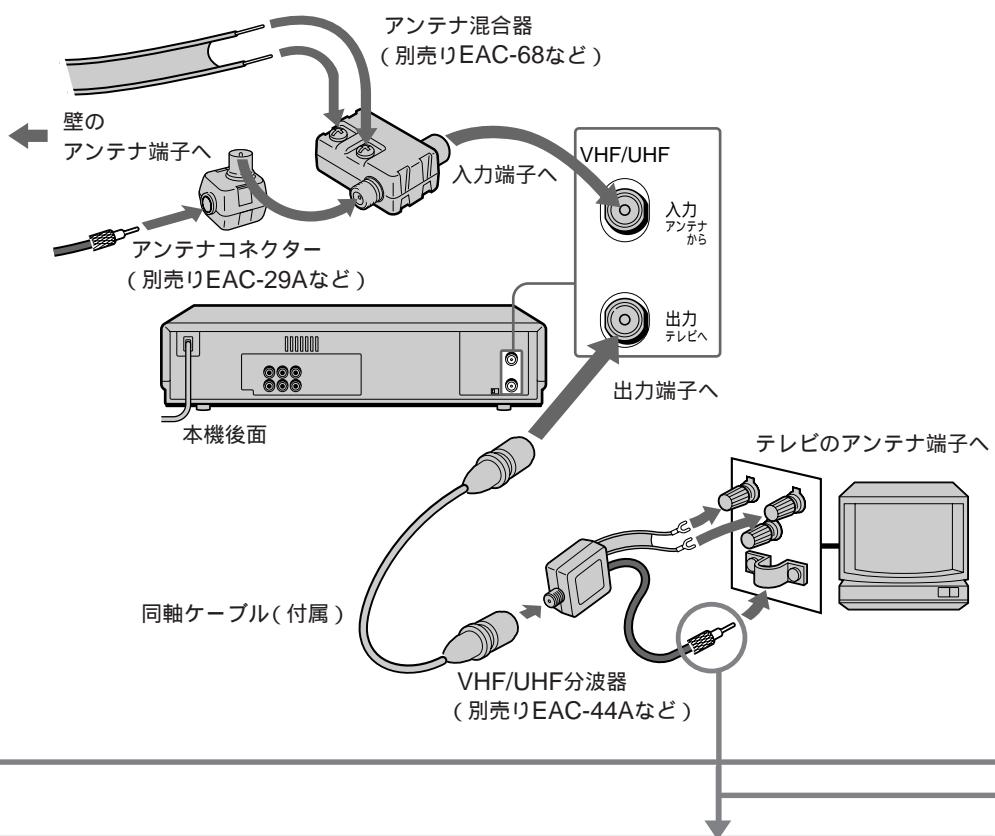
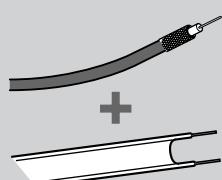
B プラグ付き 同軸ケーブル + フィーダー線 のとき



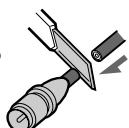
● プラグなし
同軸ケーブル
のとき



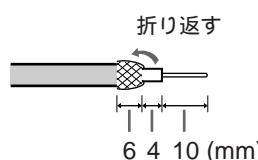
● プラグなし
同軸ケーブル
+ フィーダー線
のとき



1 プラグを切り取る



2 切り取ったケーブルの
芯線とアミ線を出す

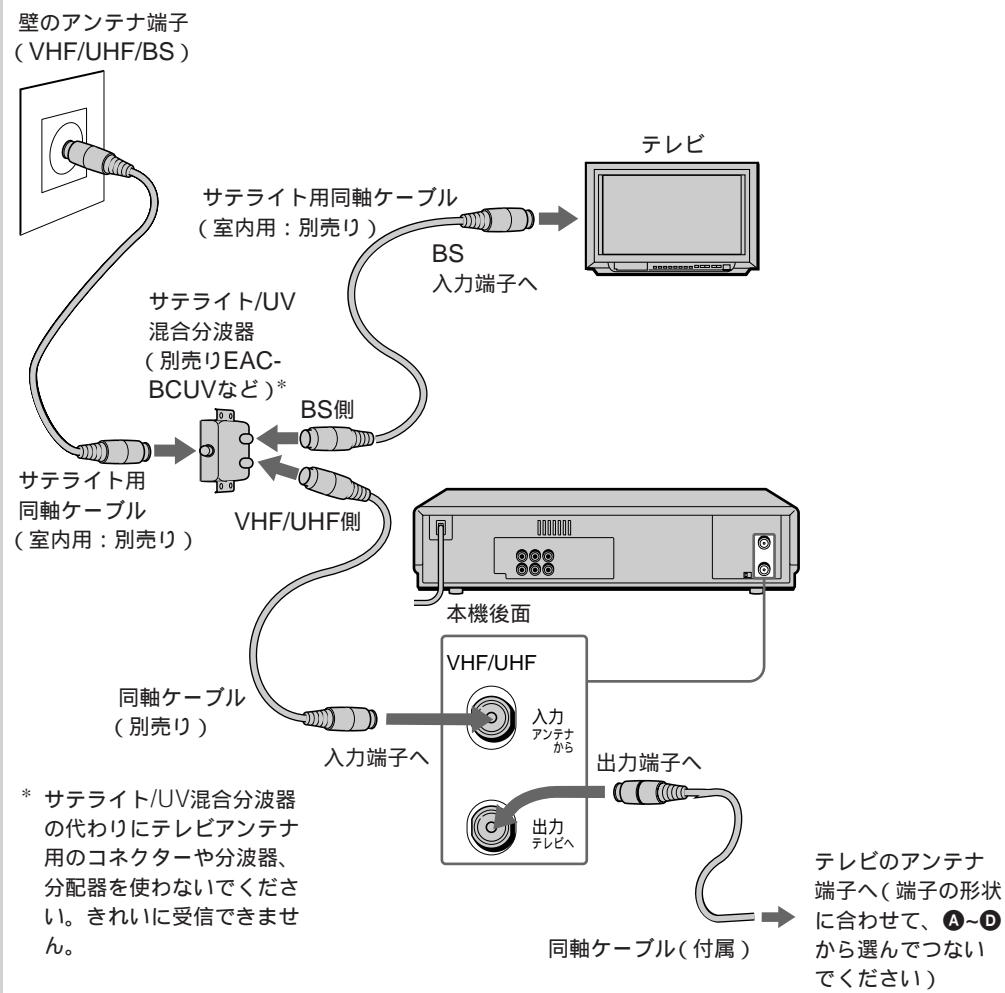


3 アンテナ端子
に巻き付ける



手順3：アンテナとテレビにつなぐ (つづき)

E 壁のアンテナ端子 がVHF/UHF/ BS混合のとき (マンションなどの 共同受信システム など)



ちょっと一言

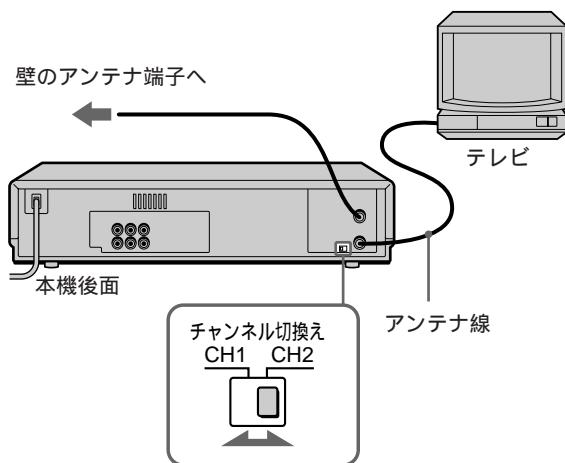
- 次のときは別売りのアンテナブースターを、本機とアンテナの間につないでください。
 - 電波が弱く画面にチラつき、斜めじまが入るとき
 - 2台以上のビデオにアンテナをつなぐとき

ご注意

- 画像の乱れを防ぐために
 - 本機の上にテレビを直接置かないでください。
 - アンテナ線はなるべく短くし、本機から離してください。
 - フィーダー線は同軸ケーブルよりも雑音電波などの影響を受けやすいため、本機から離してください。
- アンテナコネクターで、本機のVHF/UHF出力端子とテレビのアンテナ端子をつながないでください。

映像・音声入力端子のないテレビとつないだときは

本機とテレビの接続は「アンテナ線をつなぐ」(☞ 30~32ページ)で済んでいます。このように本機とテレビをアンテナ線だけでつないだときは、チャンネル切換スイッチを放送のないチャンネル(1または2)に合わせます。ビデオを見るときはここで合わせたチャンネル(1または2)を選びます。またこのとき、メニューの「各種設定1」の「アンテナ切りかえ」を「自動」にしてください(☞ 48ページ)。



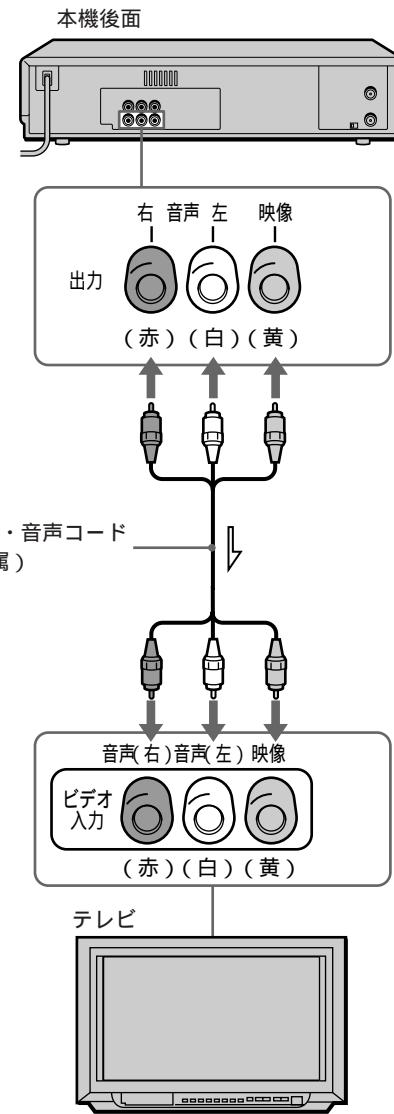
ご注意

- UHF放送だけの地域でも、テレビのVHF端子と本機のVHF/UHF出力端子をつないでください(☞ 30ページ)。つながないと、ビデオを見ることができません。
- 音声は常にモノラルになります。

映像・音声入力端子のあるテレビとつなぐ

本機とテレビを付属の映像・音声コードでつなぎます。アンテナ線だけの接続より、きれいな画像とステレオ音声が楽しめます。

ビデオを見るときは、つないだテレビの端子(「ビデオ1」、「ビデオ2」など)を選びます。



➡ : 映像・音声信号の流れ

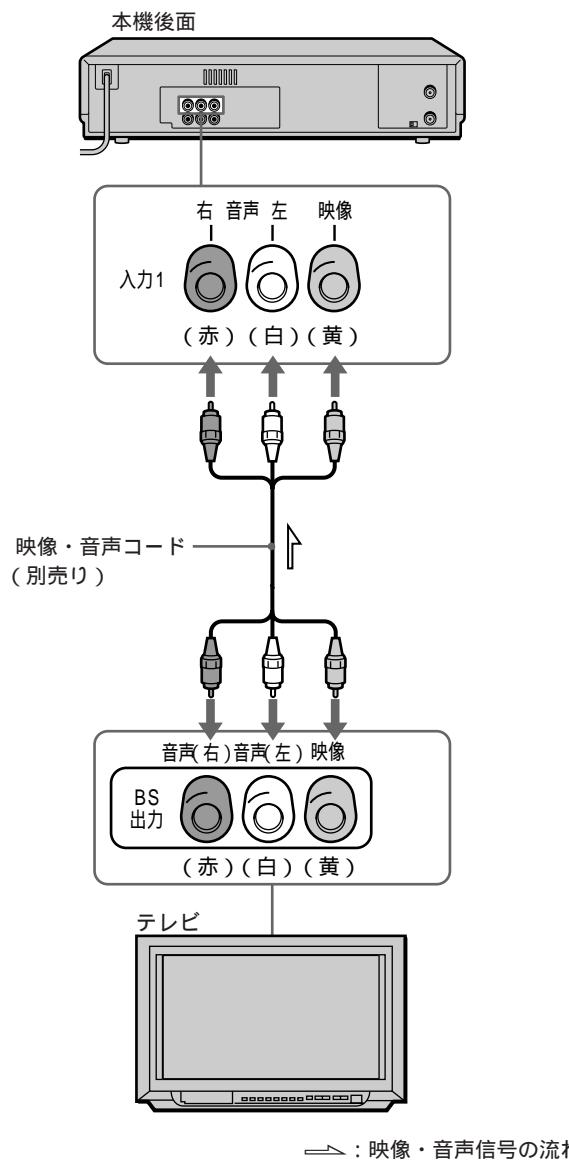
ちょっと一言

- メニューの「各種設定1」の「アンテナ切りかえ」は「手動」のままにしておきます(☞ 48ページ)。「自動」にすると録画中に裏番組を見るときに、テレビ/ビデオボタンを押す必要がありますが、「手動」ではその必要がなく便利です。
- テレビの音声入力端子が1つしかない場合は、別売りの映像・音声コード(VMC-910MSなど)を使ってください。

手順3：アンテナとテレビにつなぐ (つづき)

BSチューナー内蔵テレビなどとつなぐ

本機はBSチューナーを内蔵していませんが、BSチューナー内蔵テレビやBSチューナーのBS出力端子とつなぐと、BS放送の録画や予約ができます。



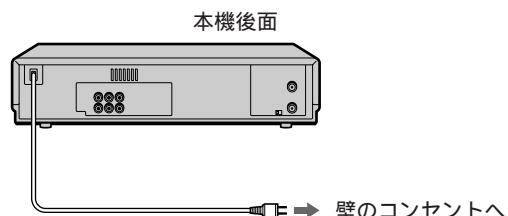
ちょっと一言

- BS出力端子のないBSチューナー内蔵テレビとつなぐときは、テレビの出力端子につなぎます。ただし、このときはBS放送の録画中にテレビの電源を切ることができません。

詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

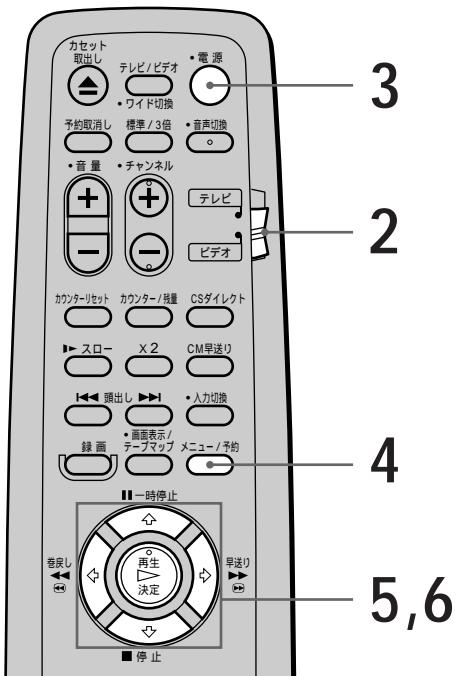
手順4： 電源コードをつなぐ

電源コードは必ず、すべての接続が終わってからつないでください。



手順5：かんたん設定をする (チャンネル・時計合わせ)

自動チャンネル合わせ、時計合わせをまとめてできます。



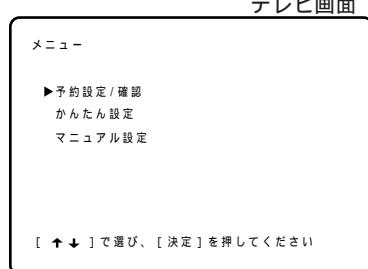
1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

2 テレビ/ビデオスイッチを「ビデオ」にする。



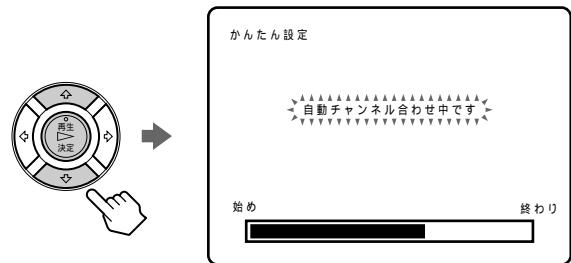
3 電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。

4 メニュー/予約ボタンを押す。

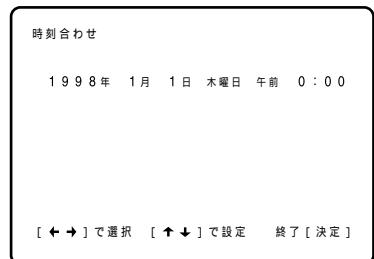


5 \uparrow/\downarrow で「かんたん設定」を選び、決定ボタンを押す。

「自動チャンネル合わせ」が行われます。



「自動チャンネル合わせ」が終わると、「時刻合わせ」の画面に移ります。



6 時計を合わせる。

1 \leftarrow/\rightarrow で項目を選び、 \uparrow/\downarrow で合わせる。

年、月、日、時、分を順に合わせていきます。



2 時報とともに決定ボタンを押す。
メニューが消えます。

手順5：かんたん設定をする (つづき)

かんたん設定を途中でやめるには
メニュー/予約ボタンを押します。

チャンネルの番号を変更したり、削除するには

自動チャンネル合わせでは以下のようになる場合があります。このときは「チャンネルの番号を変える」(37ページ)をご覧になり、変更したり削除してください。

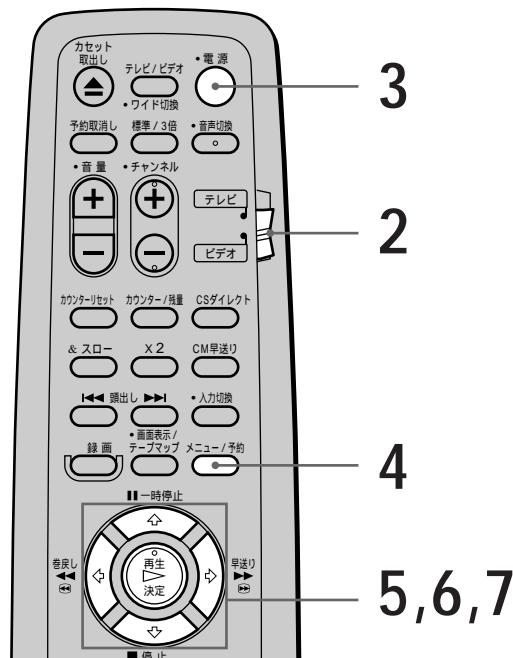
- 同じ番組でも、これまで見ていたチャンネルと違うチャンネルの番号になる。
- お住まいの地域の電波の強さによっては、不必要的チャンネルが設定される。
- CATV(ケーブルテレビ)を受信しているときは、チャンネル番号が正しく設定されない。

ちょっと一言

「チャンネル合わせ」および「時刻合わせ」はそれぞれメニューの「マニュアル設定」でも設定できます。

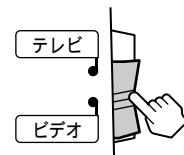
チャンネルを自動で合 わせる(自動チャンネル合わせ)

受信できるVHF放送とUHF放送を自動的に設定します。放送のある時間帯に行ってください。かんたん設定を行った場合は、自動チャンネル合わせは済んでいるので、この操作は必要ありません(35ページ)。



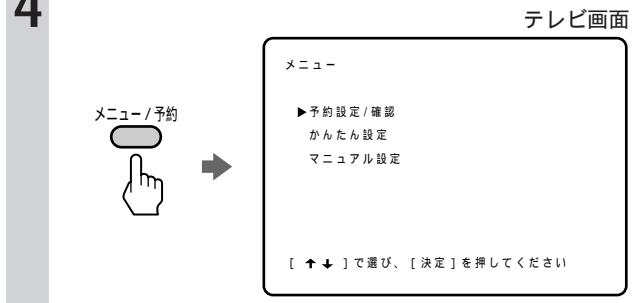
1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

2 テレビ/ビデオスイッチを「ビデオ」にする。



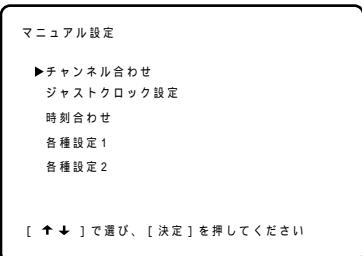
3 電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。

4 メニュー/予約ボタンを押す。



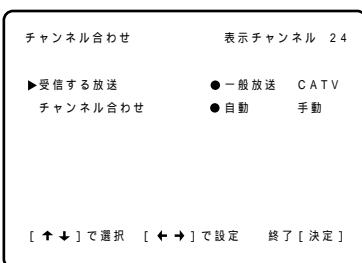
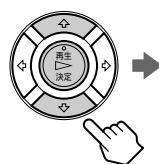
5

↑/↓で「マニュアル設定」を選び、決定ボタンを押す。



6

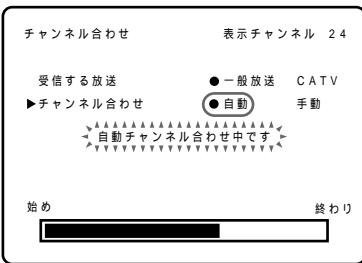
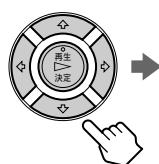
↑/↓で「チャンネル合わせ」を選び、決定ボタンを押す。



7

↑/↓で「チャンネル合わせ」を選び、←/→で「自動」にし、決定ボタンを押す。

自動的にチャンネル合わせを始めます。終わると、メニューが消えます。



チャンネルの番号を変更したり、削除するには

自動チャンネル合わせでは以下のようになる場合があります。このときは次の「チャンネルの番号を変える」(37ページ)をご覧になり、変更したり削除してください。

- 同じ番組でも、これまで見ていたチャンネルと違うチャンネルの番号になる。
- お住まいの地域の電波の強さによっては、不必要的チャンネルが設定される。
- CATV(ケーブルテレビ)を受信しているときは、チャンネル番号が正しく設定されない。

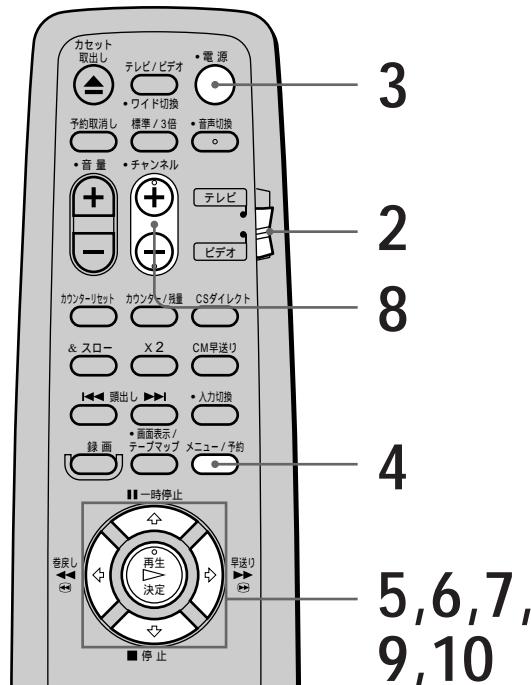
チャンネルの番号を変える(手動チャンネル合わせ)

「手順5：かんたん設定をする」(35ページ)でチャンネルを合わせれば、お住まいの地域で受信できるチャンネルはご覧になれます。

ただしチャンネルを自動で合わせたときには、これまでご覧になっていたチャンネルと違うチャンネルになる場合があります。

例：NHK教育テレビは3チャンネルで見ていたのに、32チャンネルになった

このような場合は、以下の手順で3チャンネルに変えることができます。

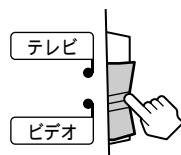


1

テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

2

テレビ/ビデオスイッチを「ビデオ」にする。

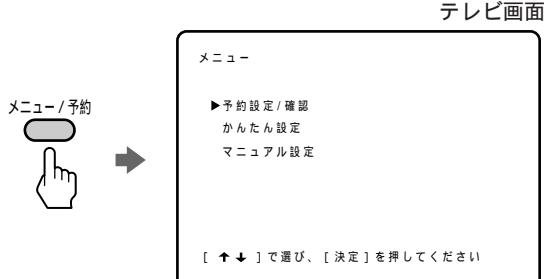


3

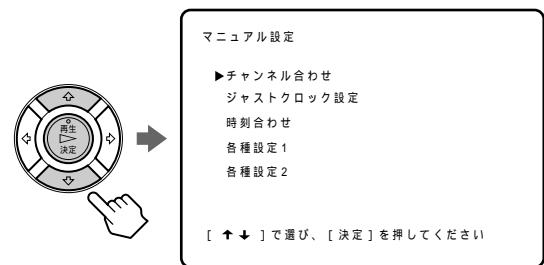
電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。

チャンネルの番号を変える(つづき)

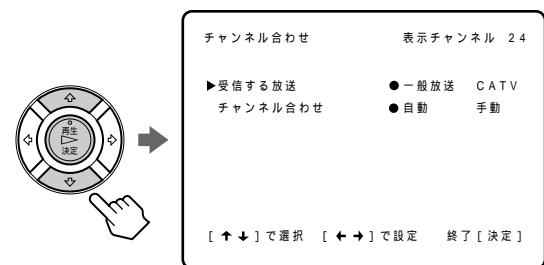
4 メニュー/予約ボタンを押す。



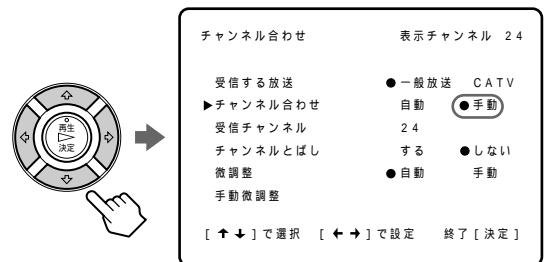
5 ↑/↓で「マニュアル設定」を選び、決定ボタンを押す。



6 ↑/↓で「チャンネル合わせ」を選び、決定ボタンを押す。

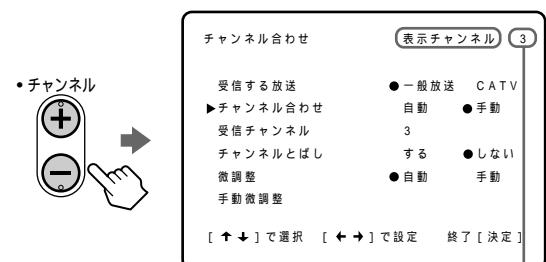


7 ↑/↓で「チャンネル合わせ」を選び、←/→で「手動」にする。



8

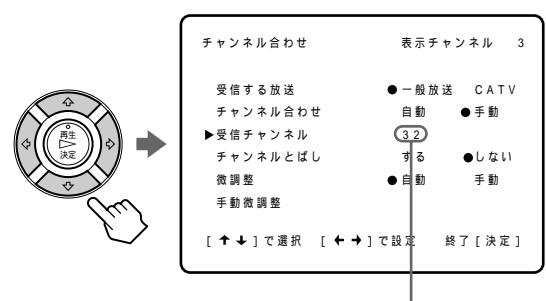
チャンネル+/-ボタンで「表示チャンネル」を変える。



例：32チャンネルを3チャンネルに変えたいときは、ここを「3」にする

9

↑/↓で「受信チャンネル」を選び、←/→で変える。



例：32チャンネルを3チャンネルに変えたいときは、ここを「32」にする

10

決定ボタンを押す。

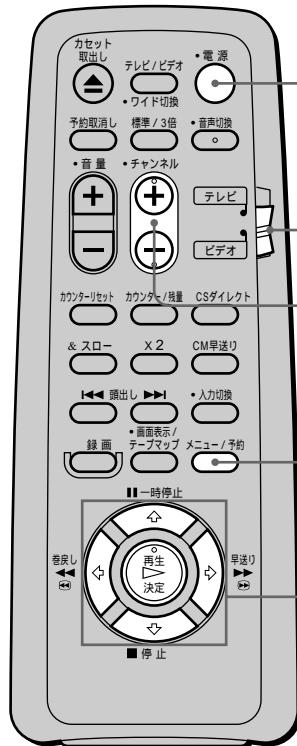
メニューが消えます。

ただし、このままでは元のチャンネルも映ります。

例：NHK教育テレビが3チャンネルと32チャンネルの両方で映る
32チャンネルで映らないようにするには、「放送のないチャンネルをとばす」(39 ページ)の手順を続けて行ってください。

放送のないチャンネルをとばす

不要なチャンネルを映らないようにします。チャンネル+/-ボタンでチャンネルを選ぶときに、映るチャンネルだけ見ることができます。



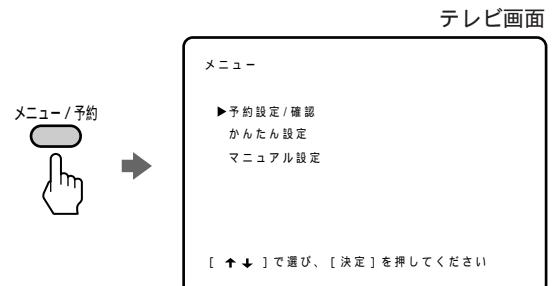
1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

2 テレビ/ビデオスイッチを「ビデオ」にする。

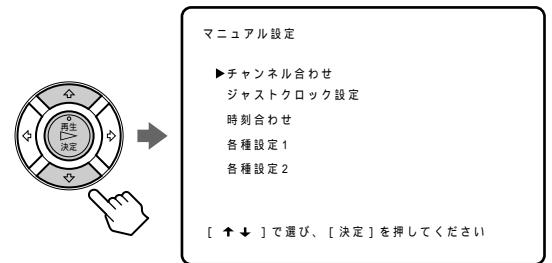


3 電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。

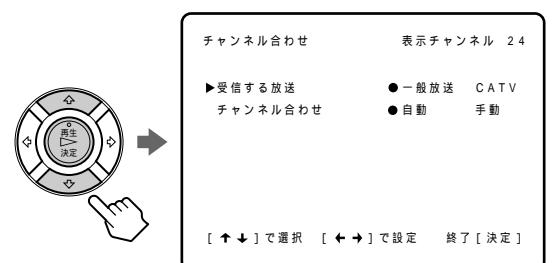
4 メニュー/予約ボタンを押す。



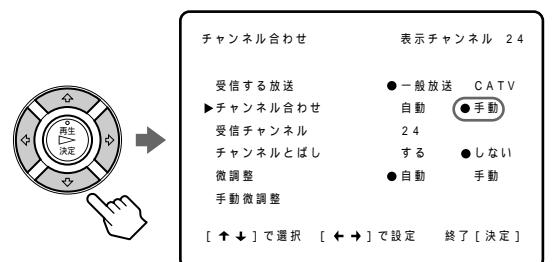
5 ↑/↓で「マニュアル設定」を選び、決定ボタンを押す。



6 ↑/↓で「チャンネル合わせ」を選び、決定ボタンを押す。

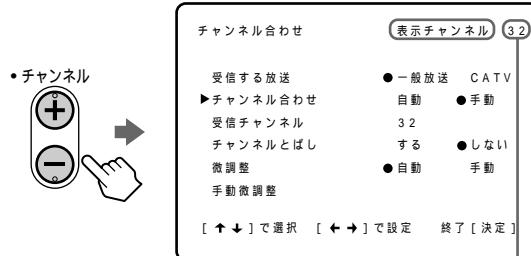


7 ↑/↓で「チャンネル合わせ」を選び、←/→で「手動」にする。

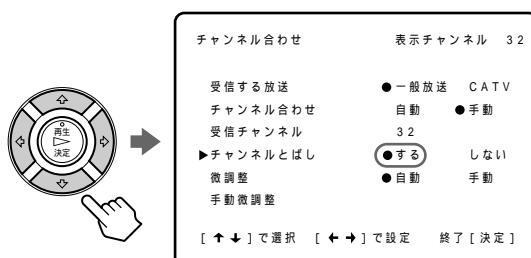


チャンネルの番号を変える(つづき)

8 チャンネル+/-ボタンで「表示チャンネル」をとばしたいチャンネルにする。



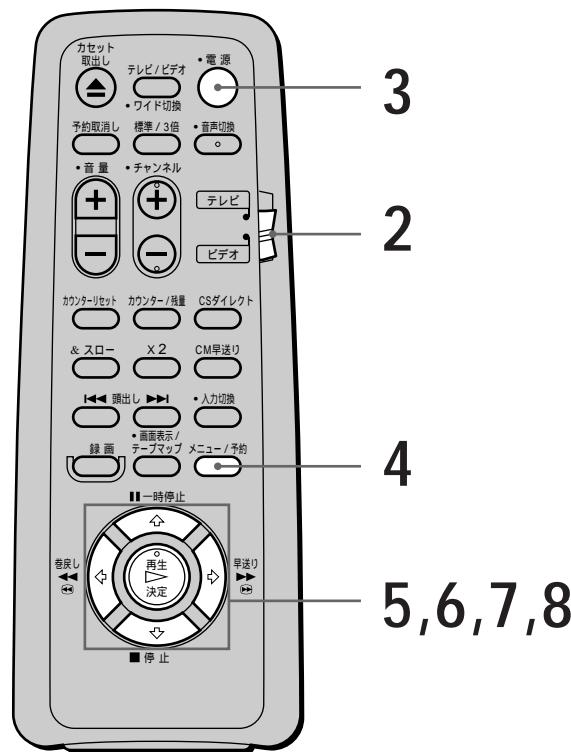
9 ↑/↓で「チャンネルとばし」を選び、←/→で「する」にする。



10 決定ボタンを押す。
メニューが消えます。

時計を合わせる

予約するには、時計を合わせておく必要があります。かんたん設定を行った場合は、時計合わせは済んでいるので、この操作は必要ありません
(☞ 35ページ)。



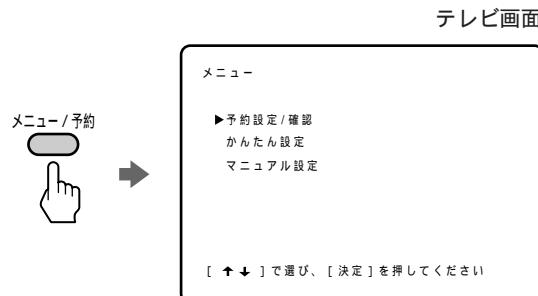
1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

2 テレビ/ビデオスイッチを「ビデオ」にする。

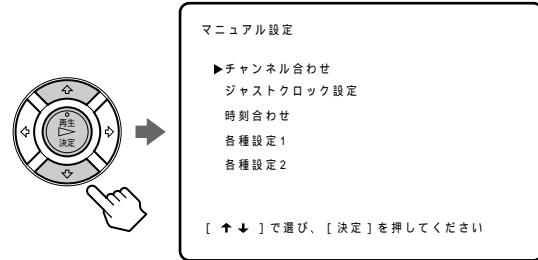


3 電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。

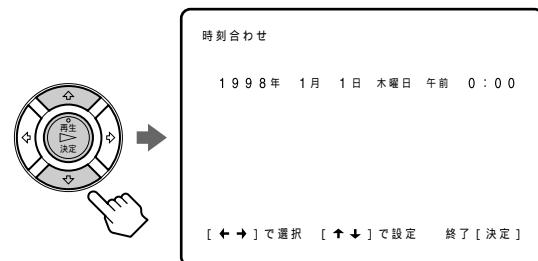
4 メニュー/予約ボタンを押す。



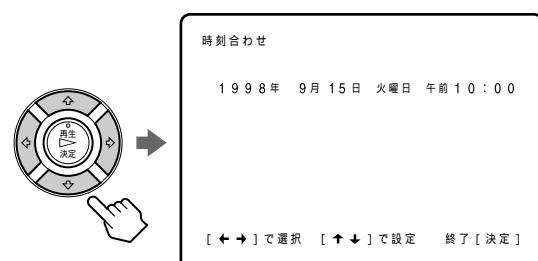
5 ↑/↓で「マニュアル設定」を選び、決定ボタンを押す。



6 ↑/↓で「時刻合わせ」を選び、決定ボタンを押す。



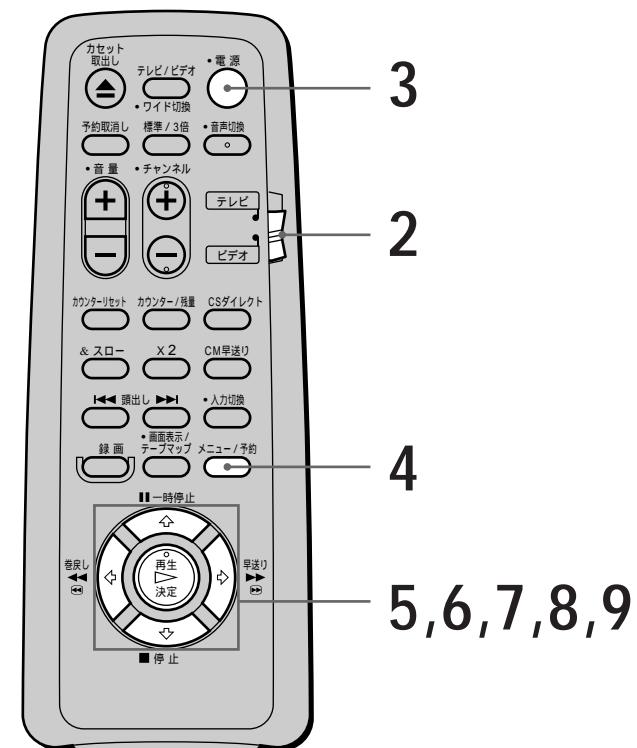
7 ←/→で項目を選び、↑/↓で合わせる。
年、月、日、時、分を順に合わせていきます。



8 時報と一緒に決定ボタンを押す。
メニューが消えます。

時計を自動補正する (ジャストクロック)

NHK教育テレビの時報を7、12、19時に読みとり、本機の時計を補正します。時計が2分以上ずれていると自動補正できませんので、あらかじめ時計を合わせておいてください。



1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

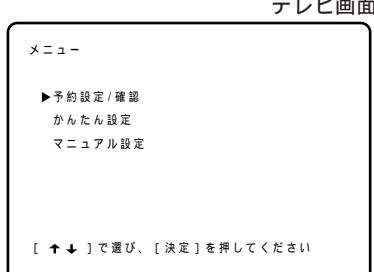
2 テレビ/ビデオスイッチを「ビデオ」にする。



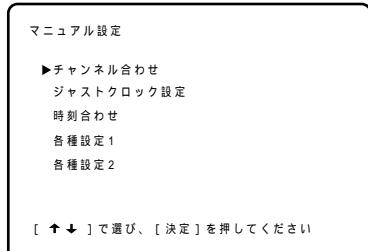
3 電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。

時計を合わせる(つづき)

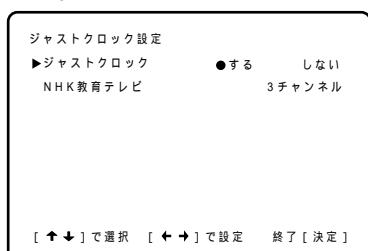
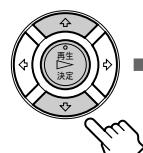
4 メニュー/予約ボタンを押す。



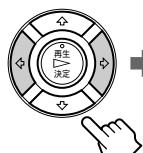
5 ↑/↓で「マニュアル設定」を選び、決定ボタンを押す。



6 ↑/↓で「ジャストクロック設定」を選び、決定ボタンを押す。

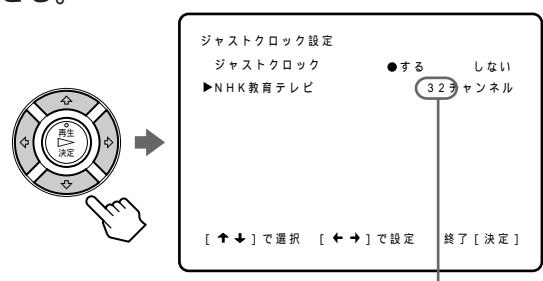


7 ←/→でジャストクロックの「する」を選ぶ。



8

↑/↓で「NHK教育テレビ」を選び、←/→でNHK教育テレビの表示チャンネルに合わせる。



例:「NHK教育テレビ」の表示チャンネルが32
チャンネルのときは、ここを「32」にする

9

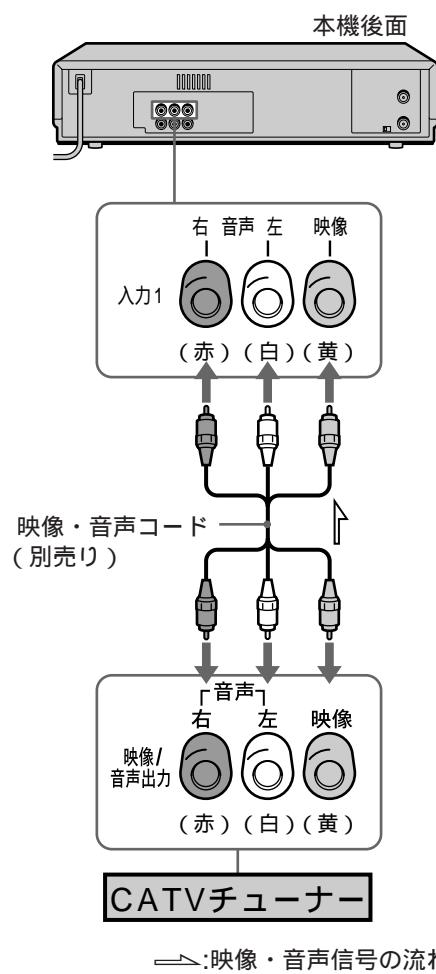
決定ボタンを押す。
メニューが消えます。

ご注意

- ・時報を読みとるとき(7、12、19時) 本機に電源が入っていると自動補正できません。
- ・録画中にジャストクロックの設定はできません。

ケーブルテレビ(CATV)をつなぐ

CATV局と受信契約すると送られてくるCATVチューナーをつなぐと、CATVを受信することができます。なお、CATVは受信できない地域もあります。くわしくは、お近くのCATV局にお問い合わせください。CATVチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。



CATVを受信するには

- 1 CATVチューナーで、受信したいチャンネルを選ぶ。
- 2 本機のチャンネル+/-ボタンを押して、ビデオ本体の表示窓に「L」を出す。

CATVのVHF/UHF放送のチャンネルを本機で受信するには

CATVのVHF/UHF放送の中には、本機で受信できるチャンネルもあります。

- 1 F型コネクター付き同軸ケーブル(別売り)で、本機のVHF/UHF入力端子とCATVチューナーのVHF/UHF出力端子をつなぐ。
- 2 メニュー/予約ボタンを押して、 \uparrow/\downarrow で「マニュアル設定」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 \uparrow/\downarrow で「チャンネル合わせ」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 \uparrow/\downarrow で「受信する放送」を選び、 \leftarrow/\rightarrow で「CATV」をを選ぶ。
- 5 チャンネル+/-ボタンを押して「表示チャンネル」を、放送のないチャンネルの番号(例: 20)にする。
- 6 \uparrow/\downarrow で「受信チャンネル」を選び、 \leftarrow/\rightarrow で受信したいチャンネルの番号(例: C30)を入れる。
- 7 手順5と6をくり返して、チャンネルを合わせていく。
- 8 決定ボタンを押す。

デジタルCSチューナーをつなぐ

デジタルCSチューナーをつないで、デジタルCS放送局と受信契約すると、本機でデジタルCS放送を録画できます。

本機は録画防止機能(コピーガード)に対応しています。デジタルCSチューナーを本機に接続して番組を視聴する場合、番組によっては録画機能の作動の有無にかかわらず視聴のみでも画面が乱れます。この場合、デジタルCSチューナーを直接テレビにつないでください。

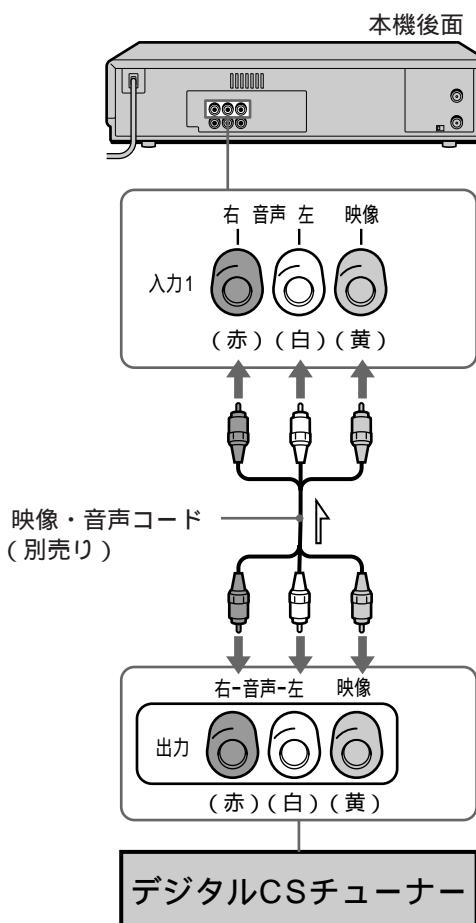
デジタルCSチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ソニーのデジタルCSチューナーは、本機の近くに設置してください

リモコンのCSダイレクトボタンを押すと、本機とデジタルCSチューナーにリモコン信号を同時に送り、両方の電源を入れ、デジタルCS放送を見ることができます(22ページ)。本機とソニーのデジタルCSチューナーが離れていると、リモコン信号が届きません。設置後にリモコンのCSダイレクトボタンを押して、本機とデジタルCSチューナーの電源が入ることを確認してください。

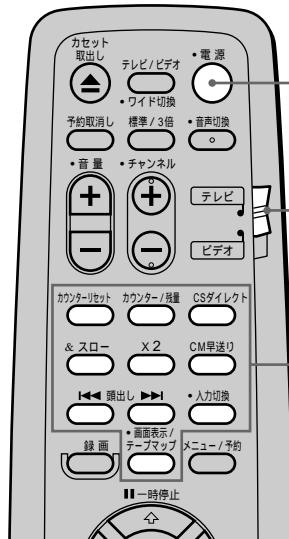
ちょっと一言

- ・番組予約機能のある機器(CATVチューナーなど)から予約録画をするときも、デジタルCSチューナーと同じように、本機の入力端子につなぎます。

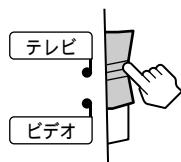


リモコンで各社のテレビを操作する

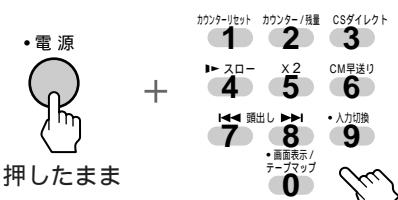
リモコン信号をお手持ちのテレビのメーカーに合わせると、本機のリモコンでテレビのチャンネルや音量、電源を操作できます。お買い上げ時はソニーのマーク付きテレビを操作できるよう設定されています。



1 テレビ/ビデオスイッチを「テレビ」にする。



2 電源スイッチを押したまま、下図の数字で示したボタンを押して、テレビのメーカー番号を入れる。
テレビのメーカー番号は右表の通りです。



例：メーカー番号を03に合わせるときは、「03」と押す

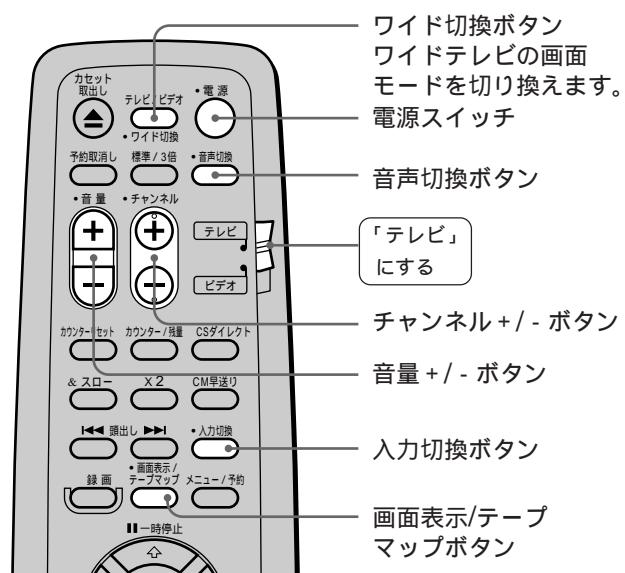
テレビのメーカー	メーカー番号
ソニー(マーク付き)	01(お買い上げ時の設定)
松下電器1 ^{*1}	02
東芝	03
日立製作所	04
三菱電機	05
日本ビクター	06
三洋電機1 ^{*1}	07
シャープ1 ^{*1}	08
NEC	09
パイオニア ^{*2}	10
富士通ゼネラル	11
ソニー(マーク無し) ^{*2}	12
松下電器2 ^{*1}	13
フナイ(PRECIOUS)	14
三洋電機2 ^{*1}	15
シャープ2 ^{*1}	16
アイワ	17
三星(SAMSUNG)	18

*1 メーカー番号「02」「07」「08」で操作できないときは同じメーカーのもう1つの番号('13' '15' '16')にしてください。

*2 入力切換ボタンは使えません。

各社のテレビに使えるボタン

テレビを操作するときは、テレビ/ビデオスイッチを「テレビ」にします。

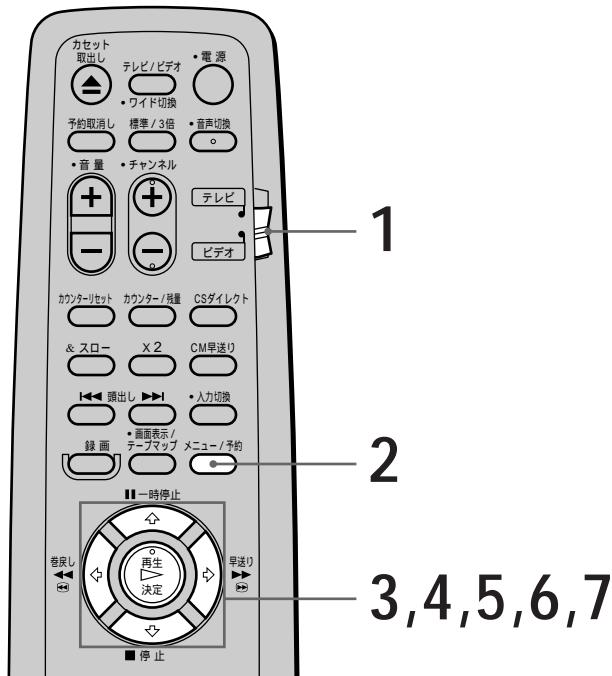


ご注意

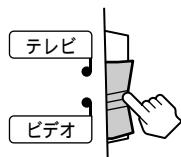
- テレビによっては、メーカー番号を合わせても操作できないことや、一部のボタンが使えないことがあります。
- リモコンの乾電池を交換したときは、テレビのメーカー番号を合わせ直してください。

受信状態を調整する

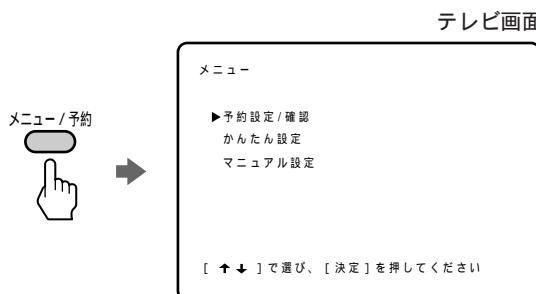
本機ではテレビ放送の受信状態を自動的に調整するので、何もしなくてもきれいな画像をお楽しみいただけます。それでも映りが悪いときは、手動で調整してください。



1 テレビ/ビデオスイッチを「ビデオ」にする。

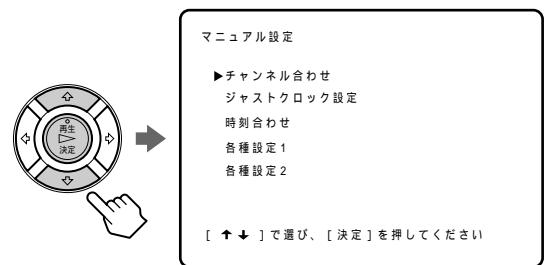


2 映りの悪いチャンネルを見ているときに、メニュー/予約ボタンを押す。



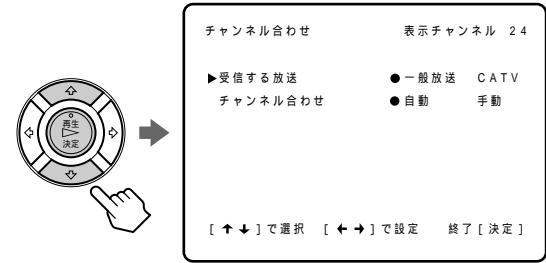
3

↑/↓で「マニュアル設定」を選び、決定ボタンを押す。



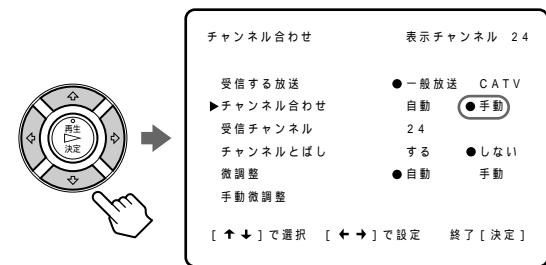
4

↑/↓で「チャンネル合わせ」を選び、決定ボタンを押す。



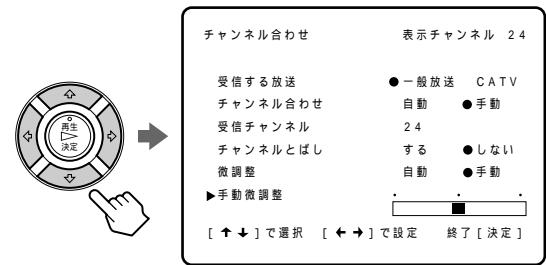
5

↑/↓で「チャンネル合わせ」を選び、←/→で「手動」を選び。



6

↑/↓で「手動微調整」を選び、←/→で画面を見ながらきれいに映るように調整する。

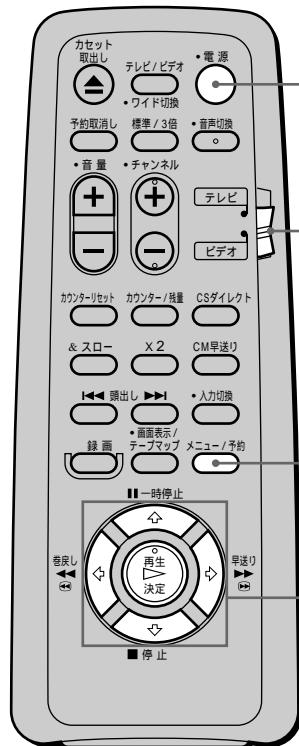


7

終わったら決定ボタンを押す。
メニューが消えます。

お買い上げ時の設定を変える

通常はお買い上げ時の設定で使えます。編集するときや、アンテナ線だけでテレビとつないだときなど、必要に応じて変えてください。



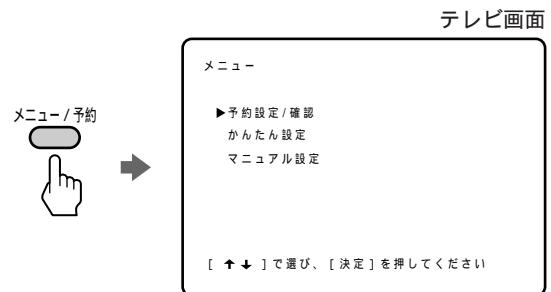
1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

2 テレビ/ビデオスイッチを「ビデオ」にする。

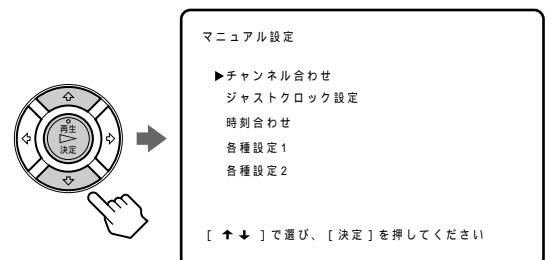


3 電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。

4 メニュー/予約ボタンを押す。

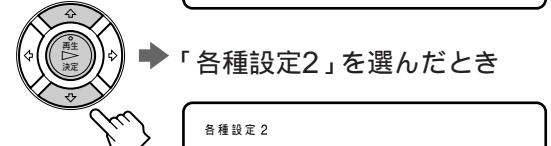
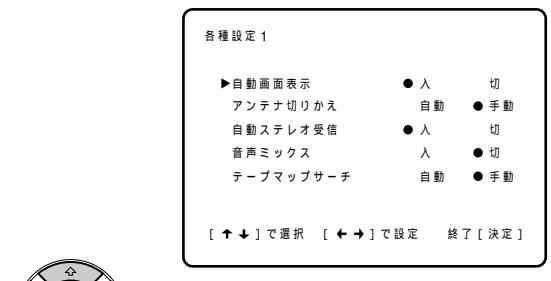


5 ↑/↓で「マニュアル設定」を選び、決定ボタンを押す。



6 ↑/↓で「各種設定1」または「各種設定2」を選び、決定ボタンを押す。

「各種設定1」を選んだとき



7 ↑/↓で設定したい項目を選び、←/→で設定する。設定が終わったら、決定ボタンを押す。

メニューが消えます。

お買い上げ時の設定を変える (つづき)

各設定の内容(② : お買い上げ時の設定)

「各種設定1」

自動画面表示

- | | |
|---|--|
| 入 | 「再生」、「早送り」などの走行表示やお知らせガイドが出る(約3秒間出て消える) |
| 切 | 走行表示やお知らせガイドが出ない(他の機での録画時に走行表示を入れたくないときにこの位置にする) |

アンテナ切りかえ

- | | |
|----|-------------------------------|
| 自動 | 映像・音声端子のないテレビとつないだときにこの位置にする。 |
| 手動 | 映像・音声コードでテレビとつないだときにこの位置にする。 |

自動ステレオ受信

- | | |
|---|----------------------------------|
| 入 | ステレオ放送がステレオで聞ける(通常はこの位置にする) |
| 切 | ステレオ放送でもモノラルになる(雑音が多いときにこの位置にする) |

音声ミックス

- | | |
|---|--------------------------------|
| 入 | アフレコした音声と元の音声を同時に聞くときにこの位置にする。 |
| 切 | 通常はこの位置にする。 |

テープマップサーチ

- | | |
|----|---|
| 自動 | テープマップサーチ画面を、予約録画およびデジタルCSシンクロ録画のあとビデオの電源を入れたときに自動的にテレビ画面に表示する。 |
| 手動 | テープマップサーチ画面は自動的には表示されない。 |

「各種設定2」

APC^{*1}

- | | |
|---|---|
| 入 | テープとヘッドの状態を自動判別し、最適な画質で再生、録画 ^{*2} する(通常はこの位置にする) |
| 切 | APCは働きない。 |

ピッタリ録画

- | | |
|---|--|
| 入 | 録画モード(標準/3倍)を標準で予約録画中に、テープ残量が録画時間よりも短くなると、録画モードが自動的に3倍になる。 |
| 切 | 常に選んだ録画モードで録画する。 |

テープ残量切りかえ^{*3}

- | | |
|-----|---------------------|
| 自動 | 通常はこの位置にする。 |
| 180 | 180分テープ使用時にこの位置にする。 |

^{*1} Adaptive Picture Control(アダプティブ・ピクチャー・コントロール)の略です。

^{*2} 録画一時停止中にビデオ本体の表示窓にAPC表示が点滅するときは、録画●ボタンを押します。APC表示が点滅から点灯に変わります。これを確かめてから録画を始めてください。点滅した状態で録画を始めても、APCは働きません。

^{*3} テープの種類によっては残量表示が正しく表示されないことがあります。

その他

ここでは、本機をご使用になる上でのご注意や、本機が正常に動かないときに解決する方法などについて説明します。また、各部のなまえや索引を使って、知りたい情報を探すこともできます。



使えるテープと再生・録画方式について

本機はVHS方式です。VHSテープも、S-VHSテープも使えますが、S-VHS方式で録画することはできません。

再生について

録画済みテープの記録方式(S-VHS/VHS)と録画モード(標準/3倍)を自動判別して再生します。S-VHS方式で録画したテープも再生できますが、S-VHS本来の解像度は得られません(簡易再生)。

ご注意

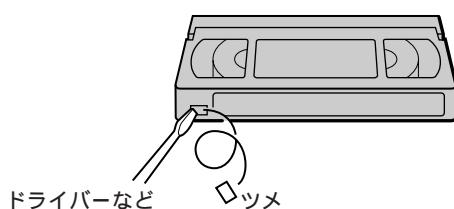
- ・日本と違うカラーテレビ方式の外国製ビデオソフトは再生できません。
- ・S-VHS方式で録画したテープをスローなど特殊再生すると画像が乱れことがあります。

録画について

VHSテープもS-VHSテープもVHS方式で録画されます。

ちょっと一言

- ・録画内容を消したくないときは、ツメを折って取ります。再び録画するときは、セロハンテープなどでふさいでください。



使用上のご注意

ヘッドのお手入れ - きれいな画像にするために

約20時間使ったら、別売りの乾式クリーニングカセット(T-25CLD、T-25CLDRなど)で、ヘッドのクリーニングをおすすめします。クリーニングカセットは、お買い上げ店やお近くのソニーショップでお求めください。

次のような症状が出たら、すぐにヘッドをクリーニングしてください。ヘッドが汚れています。

- ・ 画像がザラついたり、不鮮明になる。
- ・ 画像が出なかったり、灰色の画面になる。



ご注意

- ・ クリーニングしても正常な画像に戻らないときは、くり返しヘッドをクリーニングします。ただし、5回以上くり返さないでください。それでも正常にならないときは、ヘッドの摩耗が考えられます。ヘッド交換が必要なため、お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- ・ ソニー製湿式クリーニングカセット(T-25CLW)以外の湿式のクリーニングカセットは使わないでください。故障の原因になることがあります。

ビデオテープについて

- ・ 落としたり、強い振動、ショックを与えないでください。
- ・ ムラなく巻き取り、ケ-スに入れて立てて保管してください。
- ・ ご使用後のテープは、所定のケ-スに入れ、高温多湿、磁気、直射日光、熱器具の近く、チリ、ホコリの多い場所およびカビの発生しやすい場所をさけて保管してください。
- ・ 磁気を持ったものを近づけないでください。大切な記録が損なわれることがあります。
- ・ 冷えた場所から暖かい場所に移すと、テープに水滴がつくことがあります。カビが生えたり、ビデオヘッドを傷める原因になりますので、乾燥するまで使用しないでください。

結露について

部屋の暖房を入れた直後など、本機内部のドラムやテープに水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままにしておくと、テープがドラムに貼りついて本機の故障やテープを傷める原因となります。

結露が起こると、ビデオ本体に■表示が出て、本機はまったく動作しなくなったり、カセットが自動的に出てきたりします。

結露が起きたときは

電源を入れたまま1時間以上放置し、再度電源を入れ直してからお使いください。もし何時間たっても正常に動作しないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。

テープの結露が起きたときは

テープが結露すると、カビが生えたり、ビデオヘッドを傷める原因となります。このときは乾燥するまでテープは使用しないでください。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

保証期間中の接続・操作・故障に関するお問い合わせは、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

電源

電源が入って → 結露が起きている。電源を入れたまいるのに操作 → 結露が起きている。電源を入れたまま、ビデオ本体の図表示が消えるまでできない。(1時間以上)待つ。

電源が入らない → 電源プラグをコンセントからはずす。約1分後、もう1度コンセントに電源プラグを差し込み、電源を入れる。

カセット

カセットが入らない → 電源プラグをコンセントに差し込む。 → テープの見える面を上にして入れる。 → 他のカセットが入っている。カセット取り出し▲ボタンを押して取り出す。

カセットを入れると出でてくる → 結露が起きている。電源を入れたまま、ビデオ本体の図表示が消えるまで(1時間以上)待つ。

画像

ビデオの画像が映らない → テレビを「ビデオ」の入力に切り換える。または、テレビのチャンネルを1または2(放送のないほう)にし、テレビ/ビデオボタンを押して、ビデオ本体の「ビデオ」表示を点灯させる。 → メニューが出ている。メニュー/予約ボタンを押して消す。 → 予約画面が出ている。メニュー/予約ボタンを押す。 → テープに何も記録されていない。

再生した画像がチラつく、汚ない。 → トランкиングがずれている。トランкиング +/-ボタンで調整する(19ページ)。 → ビデオヘッドが汚れている。別売りのソニーのクリーニングカセットでヘッドをクリーニングする(50ページ)。 → テープに傷がある。

ビデオで受信しているテレビ放送が映らない。 → アンテナやテレビを正しくつなぐ(30ページ)。 → メニューの「チャンネル合わせ」でチャンネルを合わせる(36ページ)。

→ 外部入力になっている(ビデオ本体の表示窓に「L」がている)。チャンネル +/-ボタンを押して、テレビのチャンネルを選ぶ。

ビデオで受信しているテレビ放送の画像が汚い。 → 電波が弱い。別売りアンテナブースターで電波を增幅する。 → アンテナの向きを調節する。 → 画像を微調整する(46ページ)。 → 本機とテレビを離して設置する。 → 本機から離してアンテナ線をたばねる。

テレビのチャンネルを変えられない。 → テレビを「テレビ」の入力に切り換える。または、本機のテレビ/ビデオボタンを押して、ビデオ本体の「ビデオ」表示を消す。 → アンテナ線を正しく接続する(30ページ)。接続が終わったら、かんたん設定をする(35ページ)。

本機の入力端子につないだ機器の画像が映らない。 → チャンネル +/-ボタンを押して、「L」子をビデオ本体の表示窓に出す。

音声

2つの音が混ざって聞こえる → 音声切換ボタンを押す。 → メニューの「各種設定1」で「音声ミックス」を「切」にする(48ページ)。

ステレオ放送を録画したテープがモノラルで聞こえる。 → モノラル音声が選ばれている。音声切換ボタンを押してステレオ音声を選ぶ。 → モノラルビデオで録画したテープは、常にモノラル音声になる。 → 映像・音声入力端子付きテレビのときは、映像・音声コードもつなぐ。 → 録画するときにメニューの「各種設定1」の「自動ステレオ受信」を「入」にしておく(48ページ)。 → 電波が弱いためモノラルで録画されていた。アンテナの向きを調節するか、別売りのアンテナブースターで電波を增幅する。

再生時に音声が途切れる。 → テープに傷がある。

故障かな？と思ったら(つづき)

録画・予約

録画ボタンを押すと、カセットが録画できない状態になってくる。録画したいときは録画できる状態にする(49ページ)。

裏番組録画中、テレビのチャンネルを変えられない。→ テレビを「テレビ」の入力に切り換える。または、本機のテレビ/ビデオボタンを押して、ビデオ本体の「ビデオ」表示を消す。

予約したのに録画されていない。→ 予約待機中に1時間以上の停電があり、時計が止まったため。時計を合わせ直す(40ページ)。

予約した内容が途中で切れている。→ 予約録画中に停電が起きて電源が切れたため。1時間以内に停電が回復すれば時計は止まらず、回復時から終了時刻まで録画される。1時間以上の停電で時計が止まったときは、時計を合わせ直す(40ページ)。
→ 予約が重なっていた(11ページ)。
→ プロ野球中継など前の番組が延長されたため。

予約した内容が途中から始まっている。→ 予約録画が始まる前に停電があり、回復時から録画が行われたため。

クイックタイマーが途中で終わっている。/途中が抜けている。→ クイックタイマー録画中に停電が起きて電源が切れたため。停電すると時間だけが減り続ける。1時間以内に停電が回復すれば時計は止まらず、回復時から残り時間が録画される。1時間以上の停電で時計が止まったときは、時計を合わせ直す(40ページ)。

デジタルCSチューナーからの録画

予約したのに録画されていない。→ 予約待機中に停電があり、シンクロ録画ボタンが消灯したため。
→ デジタルCSチューナーの電源を切り忘れたため。デジタルCSチューナーの電源を切ってから予約待機にする(23ページ)。

予約した内容が途中で切れている。→ 本機とデジタルCSチューナーの予約が重なっている(24ページ)。
→ 予約録画中に停電が起きて電源が切れたため。

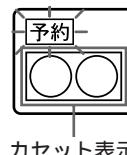
デジタルCSチューナーの電源を入れると、本機が自動的に録画を始めてしまう。

表示

メニュー画面表示が画面に出ない。→ テレビを「ビデオ」の入力に切り換える。または、テレビのチャンネルを1または2(放送のないほう)にし、テレビ/ビデオボタンを押して、ビデオ本体の「ビデオ」表示を点灯させる。

メニューが操作の途中で消える。→ リモコンのボタンを押さずにしばらくたつと、メニューは自動的に消える。始めから操作をし直す。

ビデオ本体の「予約」表示が点滅する。→ 「カセット」表示が点灯するときは、予約待機中で、テープが終わりまで進んでいる。テープを巻き戻し、電源を切る。



→ 「カセット」表示が出ないときは、予約待機中で、カセットが入っていない。カセットを入れ、電源を切る。

テープカウンターが動かない。→ 録画されていない部分は動かない。

本体表示窓に「- - -」が点灯している。→ 時計を合わせる(40ページ)。
→ 1時間以上の停電で時計が止まっている。時計を合わせ直す(40ページ)。

テープマップサーチ画面が表示されない。→ 1時間以上の停電があり、テープマップサーチの記録が消えたため。
→ カセットを取り出したため。
→ 時計を合わせる(40ページ)。

ビデオ本体に「自己診断表示」が表示が出ている。→ 自己診断機能が働いている。右の「自己診断表示」にしたがって対応する。

リモコン

- リモコンが動く → 電池が消耗している( 29ページ)
かない。
 - 電池が入っていない( 29ページ)
 - 本体の電源を入れる。
 - リモコンを本体に向けて操作する。
 - 予約待機中は電源スイッチおよびCSダイレクトボタン以外は動かない。
 - 電池を交換すると、テレビのメーカー番号がお買い上げ時の設定に戻る。
メーカー番号を合わせ直す( 45ページ)
 - テレビ/ビデオスイッチを切り換える
( 29ページ)

-
- 本機のリモコンで操作したら、
本機と他のソニーのビデオ
が同時に動く。
 - 本機と他機のリモコンモードが同じになっている。他機でリモコンモードが
選べるときは、リモコンモードを変える。

自己診断表示

( 表示がでたら)

本機には自己診断表示機能がついています。これは結露が起きているときに、ビデオ本体に  表示を出してお知らせする機能です。
 表示が出たら、電源を入れたまま、表示が消えるまで(1時間以上)待ってください。
正常に戻らないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- この製品には保証書が、添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
「故障かな?と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではビデオデッキの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。
型名：SLV-FT5
故障の状態：できるだけ詳しく
購入年月日：

主な仕様

システム

録画方式	回転2ヘッドヘリカルスキャンFM方式
ハイファイ録音方式	回転2ヘッドハイファイステレオ方式（VHS従来音声トラックはモノラル録音）
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式
テープ速度	33.4mm/秒（標準） 11.1mm/秒（3倍）
使用可能テープ	VHS方式のビデオカセットテープ
最大録画時間	標準：3時間（T-180使用時） 3倍：9時間（T-180使用時）
早送り・巻き戻し時間	約3分（T-120使用時）
受信チャンネル	VHF：1～12チャンネル UHF：13～62チャンネル CATV：C13～C63チャンネル

入・出力端子

アンテナ入出力	VHF/UHF1軸、 75 F型コネクター
映像入力	入力の1系統、 ピンジャック、 1Vp-p（75 不平衡）
映像出力	出力の1系統、 ピンジャック、 1Vp-p（75 不平衡）
音声入力	入力の1系統、 ピンジャック（左、右） 入力レベル：327mVrms (入力インピーダンス：47k 以上)
音声出力	出力の1系統、 ピンジャック（左、右） 出力レベル：327mVrms (出力インピーダンス：10k 以下)

電源部・その他

電源部	AC100V、50/60Hz
消費電力	18W、3.5W(電源「切」時)
時計方式	クオーツクロック、12時間デジタル表示
停電補償時間	1回 約1時間以内
許容動作温度	5 ~ 40
許容保存温度	-20 ~ 60
最大外形寸法	幅 430 × 高さ 100 × 奥行 287mm (最大突起含む)
本体質量	約 4 kg
付属リモコン	RMT-V219A 電源: DC 3V(単3形乾電池2個付属)
付属品	29ページ参照

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更する
ことがあります。ご了承ください。

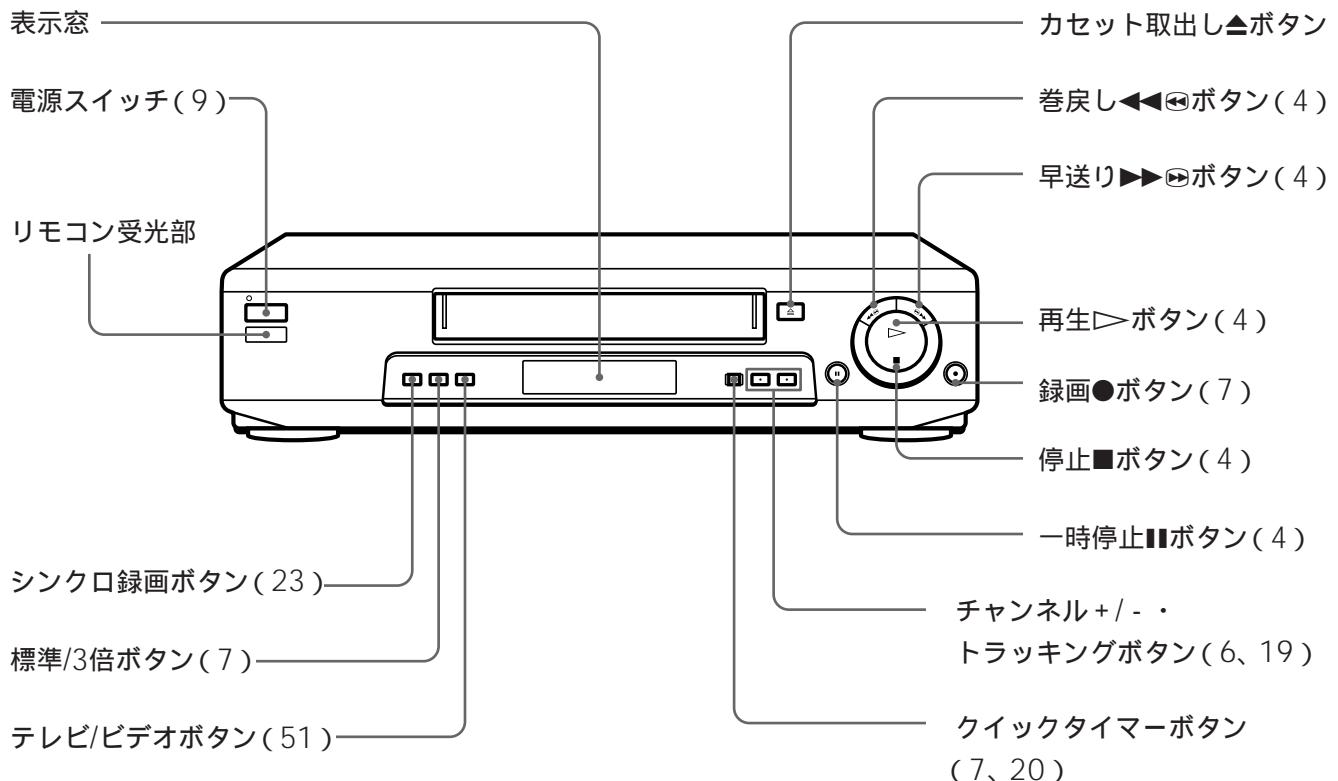
各部のなまえ

各部の説明は()内のページをご覧ください。

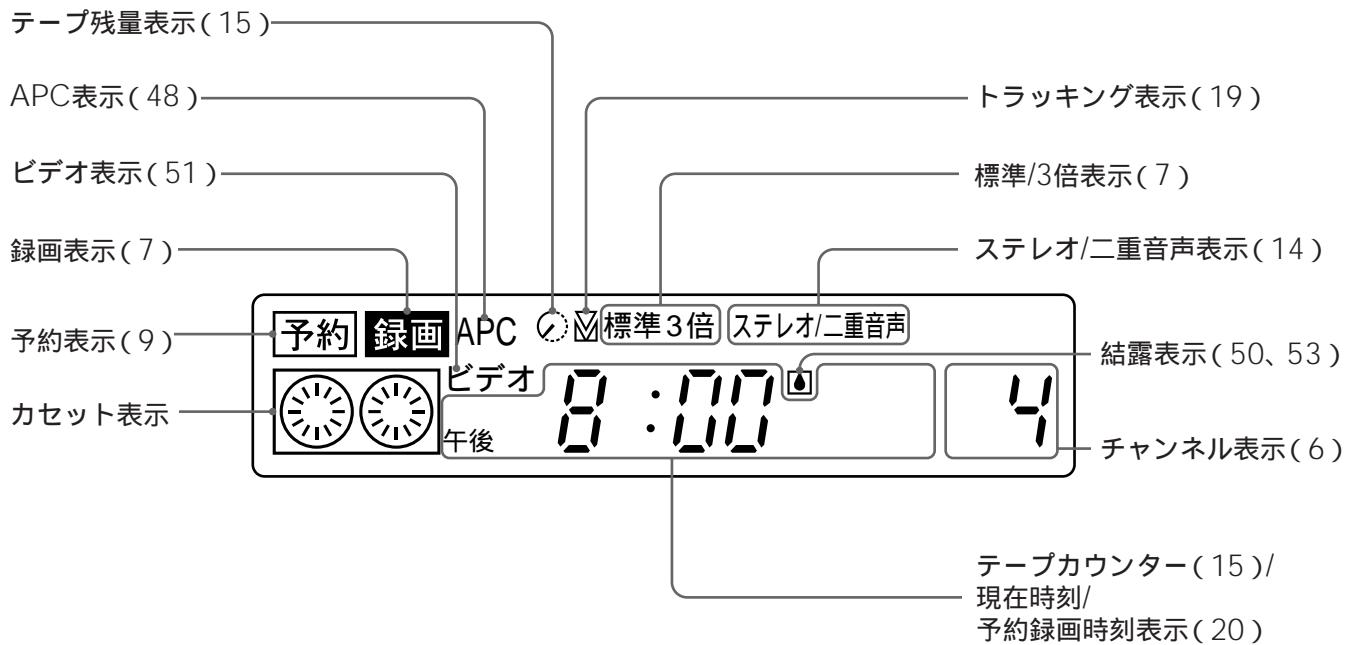
本体

本体のボタンはリモコンの同じ名前のボタンと同じ働きをします。

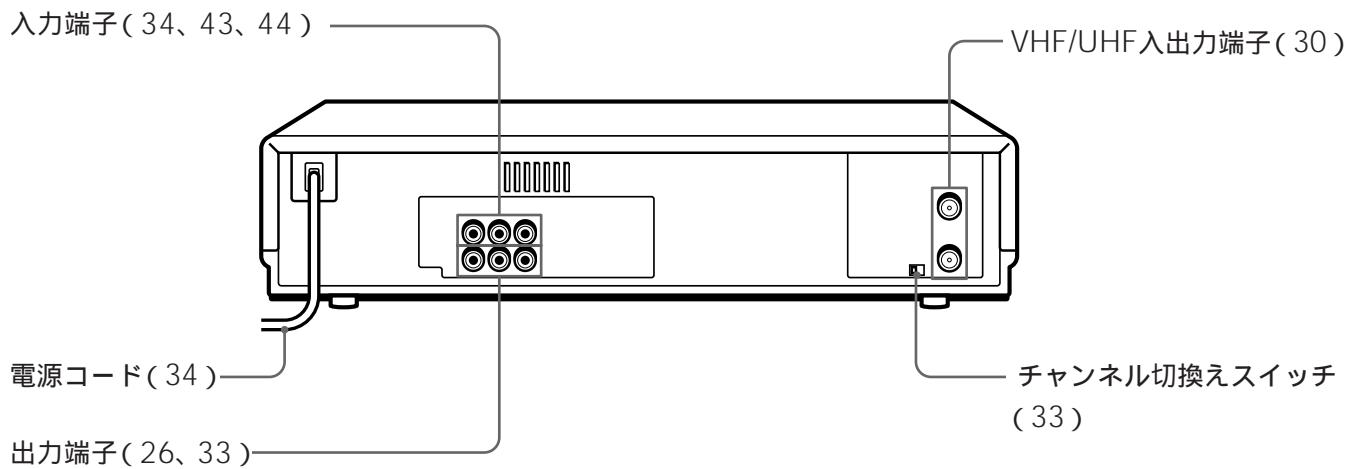
前面



表示窓



背面



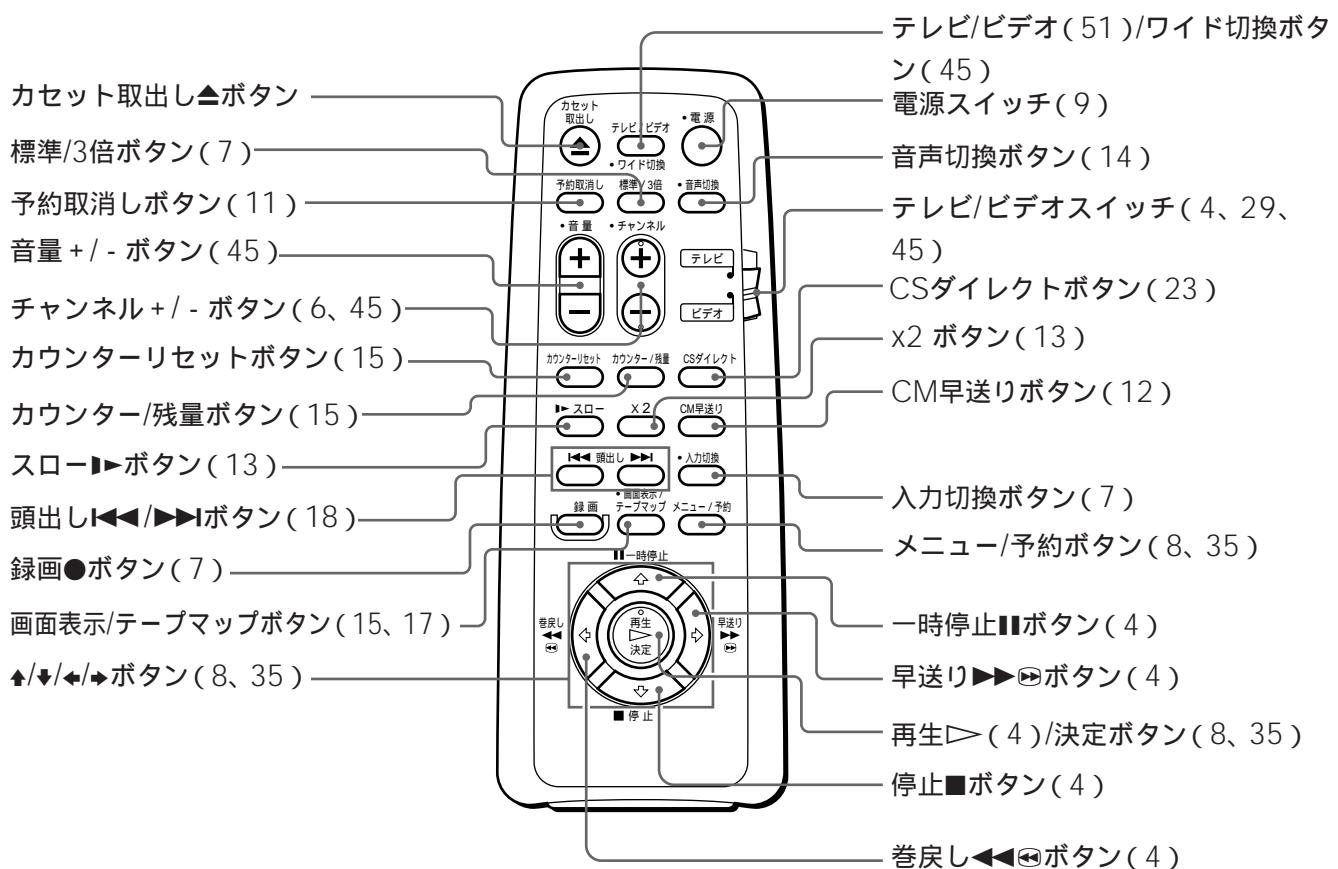
その他

次のページにつづく

各部のなまえ(つづき)

リモコン

リモコンのボタンは本体の同じ名前のボタンと同じ働きをします。



用語解説

五十音順

力行

結露

暖房を入れて室温が急に上がったときなどに、本機のドラムやテープに水滴が付くことです。テープがドラムに貼り付いて故障の原因になります。電源を入れたまま表示窓の図が消えるまで1時間以上待ってください。

サ行

受信チャンネル

ビデオが放送局を受信したときのチャンネルです。通常は新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されている各放送局の番号と同じです。本機では、チャンネルの設定を自動で行ったときに設定されます。

タ行

デジタルCS放送

通信衛星を使ったCS(Communication Satellite=コミュニケーションサテライト)放送の一種です。従来のアナログCS放送とは違い、映像や音声をデジタル化することにより、大量の情報を扱うことができます。これにより、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しむことができます。デジタルCS放送を受信するには専用のチューナーとアンテナが必要です。

トランкиング

テープに記録された信号をなぞつて読みとるようにすることです。すると再生時に画像がチラついたり、雑音が入ったりします。

ナ行

ノーマル音声

ハイファイでないVHSビデオで録画・再生するときや、アフレコ機能のあるVHSビデオでアフレコするときに使われるモノラル音声です。

ハ行

ハイファイ音声

ハイファイビデオ(本機など)で再生したときに聞こえる高品質なステレオ音声です。

表示チャンネル

ビデオで放送局を選ぶとき表示されるチャンネルです。通常は受信チャンネルと同じですが、変更することができます。

ヘッド

テープに信号を記録したり、テープから信号を読みとる部分です。美しい画像を楽しむために定期的にクリーニングしてください。

ヤ行

予約待機

予約をして電源を切ると、予約表示が点灯します。これが予約待機(予約録画待ち)の状態です。予約した時間になると自動的に録画が行われます。録画開始時刻に電源が入っていると、録画が行われません。

アルファベット順

APC

他機で録画したVHSテープの再生・録画やレンタルビデオの再生を、テープやヘッドの状態を自動的に判断して、最適な画質にします。本機ではメニューで「APC」を「切」にしない限り常にたらきます。

APCはAdaptive Picture Control(アダプティブ・ピクチャー・コントロール)の略です。

CATV

契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送のことです。通常のテレビ番組やBS放送に加え、スポーツや映画の専門チャンネル、地域情報番組や文字放送などを見ることができます。

CATVはCable Television(ケーブル テレビジョン)の略です。

索引

五十音順

ア行

頭出し 16, 18
一時停止 4
裏番組 7
オートプレイ 18
音声切換 14
音声ミックス 48

カ行

外部入力 26
カウンター 15
「各種設定1」 48
「各種設定2」 48
画面表示 15
かんたん設定 35
クイックタイマー 7, 20
クリーニングカセット 50
ケーブルテレビ 43
結露 50, 53, 59

サ行

再生 4
2倍速 13
スロー 13
再生・録画方式 49
3倍 7
「時刻合わせ」 41
自己診断表示 53
ジャストクロック 41
受信チャンネル 37, 59
ステレオ放送 14

タ行

ダビング 25
チャンネル合わせ
 自動チャンネル合わせ 35, 36
 手動チャンネル合わせ 37
チャンネルとばし 39
ツメ 5, 7, 9, 49
テープカウンター 15
テープ残量 15
テープマップサーチ 16, 48
停止 4
デジタルCSシンクロ録画 23
デジタルCSチューナー 22, 44
電源コード 34
時計合わせ 35, 40
トラッキング 19, 59

ナ行

二か国語放送 14
ノーマル音声 59

八行

ハイファイ音声 59
早送り 4
ビデオを見る 4
表示チャンネル 38, 59
標準 7
ヘッド 50, 59
編集 25

マ行

巻き戻し 4
メーカー設定 45

ヤ行

予約 8
確認 10
取り消し 10
変更 10
「予約設定/確認」 8, 10
予約待機 9, 59

ラ行

リモコン 29, 45
リモコン電池交換 29
録画 6, 20
録画モード 7

アルファベット順

APC 48, 59
BSチューナー内蔵テレビ
 の接続 34
 を使ったBSの予約 9
 を使ったBSの録画 6
CATV 43, 59
CMとばし 12
「L」 27
S-VHS 49
VHS 49

保証期間中の接続・操作・故障に関するお問い合わせは
テクニカルインフォメーションセンターへ
フリーダイヤル 0120-88-9374

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111